

整理番号
290 -

決算書頁
243

(会計)01一般会計(款)05労働費(項)01労働費(目)02労働諸費(大事業)02雇用、勤労者対策事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-6 就業・起業	H16 年度～ R6 年度	01-05-01-02-02-01
	基本事業	① 就労支援、職業相談	担当部署	部・課名等
	事務事業名	雇用、勤労者対策事業	産業振興部商工労働課	評価責任者・連絡先 課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	地元での就職を希望する学生及び求職者、市内の労働福祉団体及び市内に居住・勤務する労働者		
	目的	地元企業への就職による地域経済の後継者を育成する。市内に居住、勤務する労働者に対して労働者福祉の向上を図る。		
	根拠法令等			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に居住する未就労者及び離職者の生活環境の安定的な向上を図るため、職業相談員を配置し、求人や求職情報の収集及び提供などの職業相談業務にあたり、就労支援に取り組みました。(配置人数1人、相談回数203回) ・「いが若者サポートステーション」等と連携し、臨床心理士によるカウンセリング経費に対して支援を行いました。 ・名張市、上野商工会議所、伊賀市商工会、名張商工会議所との共催により、伊賀市・名張市合同企業説明会を開催しました。(3月10日、参加企業60社、参加者150人) ・甲賀市、伊賀公共職業安定所、甲賀公共職業安定所との共催により、甲賀伊賀地域就職面接会を開催しました。(2月3日、参加企業:22社、参加者:86人) ・勤労者の生活安定や福祉向上のため、金融機関と連携して資金の融資を行いました。 ・労働環境整備に向けた取り組みの一環として、三重県、伊賀公共職業安定所との協働で市内企業を訪問し、人権問題等に関する啓発活動を行いました。 ・企業人権啓発のため、「伊賀市人権学習企業等連絡会」を組織し、各企業の取り組みに係る事例報告や人権問題等に関する研修会を実施しました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	36,000円	若者無業者自立支援促進事業臨床心理士謝礼	36,000円
	旅費	140,711円	職業相談員活動旅費	140,711円
	負担金、補助及び交付金	1,141,000円	労務対策協議会負担金	200,000円
			三重県職業能力開発協会負担金	6,000円
			U・J・ターン促進事業負担金	135,000円
			勤労者福祉事業補助金	800,000円
	貸付金	40,000,000円	勤労者住宅・生活資金融資貸付金	40,000,000円
	その他	5,349円	消耗品費	5,349円
	計	41,323,060円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) その他(勤労者住宅・生活資金融資貸付金元利収入):40,000千円
		国県支出金	713	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	40,000	40,000	40,000	40,000	
		一般財源	1,560	1,618	1,324	3,012	
	合計(A)	42,273	41,618	41,324	43,012		
	事業費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.45 人	0.50 人
			人件費	1,553	1,548	3,482	3,853
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	1.00 人	1.00 人	0.20 人	0.00 人	
	人件費	1,596	1,617	324	0		
小計(B)	3,149	3,165	3,806	3,853			
合計(A+B)	45,422	44,783	45,130	46,865			
市民1人当たりのコスト(円)	509	511	515	543			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	内定者数	合同就職セミナーをきっかけとして内定した人数(前年実績値)	人	目標	4	4	5
				実績	4	11	
指標化できない成果		達成	100.0%	275.0%			

方向	改善課題	内定者数に漏れがないよう、体系立てた追跡調査を実施していく必要がある。 就職後、短期間で離職する方もいるため、企業の実態を知る機会を多く創出する必要がある。
	改善案	I. 就職セミナーの参加者に対する追跡調査を実施する。 I. II. 企業と求職者のマッチングの機会を現状以上確保する。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R4 年度	01-06-01-01-02-01	
	基本事業	③ 担い手の確保・育成	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	事務局管理経費		伊賀市農業委員会事務局	事務局次長 前川 博善 0595-22-9720

事務事業の概要	対象	農業者及び農地所有者		
	目的	農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図る。		
	根拠法令等	農業委員会等に関する法律、農地法、農業経営基盤強化促進法		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○農業委員会の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・年次総会(1回)、新規営農面接審査会(10回、15件)、月次総会及び役員会(各12回)、農業委員・農地利用最適化推進委員の合同研修会(1回) ・市広報掲載(6月号:農地パトロール強化期間、2月号:農業委員会委員・農地利用最適化推進委員の募集、農業者年金加入促進、3月号:令和5年度総会日程、令和5年度農作業賃金基準表) ・農家の相談業務(随時、農地法許認可申請等) ○法定業務 <ul style="list-style-type: none"> ・農地法の権利移動の審査・許可業務(第3条:141件、第4条:27件、第5条:121件、非農地:20件) ・遊休農地に関する措置(農地パトロールによる利用状況調査・利用意向調査) ・農業経営基盤強化促進法に基づく業務(利用権設定:607件、所有権移転:10件) ○農業振興業務 <ul style="list-style-type: none"> ・農業及び農業者に関する情報提供の業務 ・農地基本台帳の整備及び地図情報化の推進に関する業務 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	11,736,000円	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員	
	旅費	238,021円	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員実費弁償	
	需用費	418,619円	消耗品費、食糧費、印刷製本費	
	役務費	153,880円	通信運搬費、農業委員等公務災害保険料	
	委託料	3,660,800円	電算処理等委託料[委託先](株)ジオフォーラム	
	使用料及び賃借料	392,876円	システム等借上料	
	負担金、補助及び交付金	1,278,000円	三重県農業会議負担金	
	計	17,878,196円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	8,295	9,858	8,528	7,543		<ul style="list-style-type: none"> 県補助金 ・農業委員会交付金 6,370,800円 ・農地利用最適化交付金 2,158,000円
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	9,004	9,205	9,351	12,154		
	合計(A)	17,299	19,063	17,879	19,697			
	事業費	人件費	正規職員	業務量	3.50 人	3.50 人	3.50 人	3.50 人
				人件費	27,174	27,080	27,080	26,968
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
				人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員			業務量	0.60 人	0.60 人	0.60 人	0.60 人	
	人件費	958	971	971	1,008			
	小計(B)		28,132	28,051	28,051	27,976		
	合計(A+B)		45,431	47,114	45,930	47,673		
	市民1人当たりのコスト(円)		509	537	524	552		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	利用権を設定した筆数	所有者の高齢化等で耕作困難となった農地を担い手に貸すことで、農業経営の合理化を図る。	筆	目標	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績	2,712	1,566	/	/
指標化できない成果	農地転用申請精査による優良農地の確保。	達成	135.6%	78.3%	/	/		

方向	改善	課題	農業従事者の減少により、遊休農地が年々増加している。
	改善案	農業委員・農地利用最適化推進委員による農地パトロールを行い、遊休農地に対する利用意向調査を行っているが、農地の貸し手と借り手をマッチングさせる活動も実施する。	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R4 年度	01-06-01-01-03-01
	基本事業	③ 担い手の確保・育成	担当部署	部・課名等
	事務事業名	農業者年金業務経費		伊賀市農業委員会事務局

事務事業の概要	対象	20歳以上の加入資格を有する農業者、加入者及び受給者		
	目的	農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上のため。		
	根拠法令等	独立行政法人農業者年金基金法		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・JAいがふるさとと連携して事務を受託している事業。 ・広報いがの2月号への新規加入者促進記事掲載を行うとともに、新規営農面接審査会において加入促進を行ったが新規加入者は0名であった。 ・年金給付に関する業務 裁定請求、現況届、死亡関係届、口座変更届等に関する書類受付・精査及び独立行政法人農業者年金基金への提出。年金受給者から経営移譲者への実態を伴った経営移譲の指導や年金受給者の無届での農業の再開防止。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	8,787円	消耗品費	
	役務費	5,100円	通信運搬費	
	計	13,887円		

全体コスト(千円)		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費		国県支出金	0	
	地方債	0		0	0	0	
	その他	10		17	14	17	
	一般財源	0		0	0	0	
	合計(A)	10		17	14	17	
事業費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費	3,882	3,869	3,869	3,853	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
		人件費	639	647	647	672	
	小計(B)	4,521	4,516	4,516	4,525		
	合計(A+B)	4,531	4,533	4,530	4,542		
	市民1人当たりのコスト(円)	51	52	52	53		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	農業者年金新規加入数	年度末時点の年金新規加入者数	人	目標	1	1	1	1
				実績	0	0	/	/
指標化できない成果			達成	0%	0%	/	/	

方向	改善	課題	若い世代の農業者年金の新規加入者がいない。
	改善案		国からの委託業務で、縮小統合などの判断はできにくい。若い世代で農業を始めようとする方の情報を得た場合にまずは制度の周知を図る。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H23 年度～ R4 年度	01-06-01-01-04-01	
	基本事業	③ 担い手の確保・育成	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	機構集積支援事業		伊賀市農業委員会事務局	事務局次長 前川 博善 0595-22-9720

事務事業の概要	対象	市内の全農地と遊休農地所有者		
	目的	担い手への農地集積・集約化を図るため。		
	根拠法令等	農地中間管理事業の推進に関する法律、農地法		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構等との連携を効果的かつ効率的に遂行するために、市内にある農地の利用状況について、6月～8月にかけて、農地法第30条に基づく利用状況調査(田畑併せて32,333筆)を実施。 ・調査結果を取りまとめ、遊休農地所有者に対し、農地利用意向調査(180件、320筆、42.2ha)を実施。 ・調査結果を農地情報支援システムにデータを入力。 ・遊休農地の利用意向調査対象……農地法第32条第1項の規定に該当する農地の所有者 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	109,980円	印刷製本費(利用意向調査票等)	
	役務費	32,040円	通信運搬費(利用意向調査)	
	計	142,020円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	337	3,719	143	1,985	県補助金 ・機構集積支援事業費補助金 1,757,900円
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
		合計(A)	337	3,719	143	1,985	
	事業費	人件費	正規職員	業務量 1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
			人件費	7,764	7,737	7,737	7,705
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量 1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
人件費	1,596	1,617	1,617	1,679			
小計(B)	9,360	9,354	9,354	9,384			
合計(A+B)	9,697	13,073	9,497	11,369			
		市民1人当たりのコスト(円)	109	149	109	132	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標	農業経営基盤強化促進法による所有権移転の面積	売り手が農地中間管理機構に売却、農地中間管理機構が買い手に売却した農地の面積	㎡	目標	35,000	40,000	45,000	50,000
				実績	34,694	59,457	/	/
	指標化できない成果	成果に繋がらないマッチングの活動	達成	99.1%	148.6%	/	/	

方向	改善課題	農地中間管理機構の事業内容があまり知られていない。
	改善案	農地中間管理機構の事業内容を周知し、農地の流動化を図る。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	R4 年度～ R4 年度	01-06-01-01-06-01	
	基本事業	③ 担い手の確保・育成	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	情報収集等業務効率化支援事業(繰越明許)		伊賀市農業委員会事務局	事務局次長 前川 博善 0595-22-9720

対 象	農業委員及び農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局									
目 的	担い手への農地集積・集約化を図るため。									
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法									
内 容	<p>・地域の農業の将来像として地域計画を策定するにあたり、農業委員会では計画に必要な目標地図の素案作成が新たな業務となり、それに必要なタブレット端末を購入した。</p> <p>地域計画:地域農業を維持するために、誰が・どこの農地で・どんな作物を・どのように栽培するのか等、10年後の地域の農業の姿を地域のみinnで話し合い、作り上げていく将来計画をいう。</p> <p>目標地図:10年後の1筆ごとの農地の耕作者を示した地図をいう。耕作者がバラバラの農地を担い手に集約・集積を図ることを目的としている。</p>									
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">経費</th> <th style="width:20%;">金額</th> <th style="width:50%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">867,944円</td> <td>タブレット端末(28台)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">867,944円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	備品購入費	867,944円	タブレット端末(28台)	計	867,944円	
経費	金額	摘要								
備品購入費	867,944円	タブレット端末(28台)								
計	867,944円									

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 県補助金 ・農業委員会による情報収集等業務効率化支援事業費補助金 867,944円	
		国県支出金	0	868	868	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	0	868	868	0			
	事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
小計(B)	0	0	0	0				
合計(A+B)	0	868	868	0				
市民1人当たりのコスト(円)		0	10	10	0			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	タブレットを使用する農業委員・農地利用最適化推進委員数	目標地図の素案作成や農地パトロール、現地調査等に有効に活用するように努める。	人	目標	—	10	/	/
	指標化できない成果			実績	—	0	/	/
				達成	—	0%	/	/

方向	完了	課題	当初は、令和5年4月からタブレットに格納されるアプリを使用できるとされていたが、アプリ自体が現在も未完成のため使用することができない。
		改善案	アプリの開発は、国の事業であるため、早く完成させてもらうように要求する。

整理番号
295 -

決算書頁
247

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)02農業総務費(大事業)02事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～	R6 年度	01-06-01-02-02-01
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	事務管理経費	担当部署	産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	農業振興事業を実施するために必要な事務費用等		
	目的	農業振興事業を円滑に実施する		
	根拠法令等			
	内容	農業振興団体との連携を図りつつ、農業に関する一般事務を行います。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費 52,640円 役務費 114,450円 委託料 2,262,807円 使用料及び賃借料 257,560円 負担金、補助及び交付金 1,244,084円 積立金 33,975円 計 4,925,954円	960,438円 52,640円 114,450円 2,262,807円 257,560円 1,244,084円 33,975円 4,925,954円	光熱水費728,988円,消耗品費132,450円,修繕料99,000円 旅費52,640円 道路賠償責任保険料(農道・林道)114,300円他 農業情報支援システム保守業務委託132,000円 大内・清水排水樋門操作点検業務委託488,400円 農村公園維持管理371,800円,草刈業務607,418円 弁護士業務委託料663,189円 電算機借上244,200円他 木興揚水機場施設修繕(タラップ作製)事業材料費交付546,205円他 ふるさと水と土保全対策基金積立金33,975円	

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	0		0		0		0		・法定外公共物使用料 2,598,494円 ・ふるさと水と土保全対策基金利子 33,975円 ・農業用水管設置使用料 4,600円 ・複写料 7,910円
	地方債	0		0		0		0		
	その他	2,532		2,446		2,645		2,533		
	一般財源	1,430		1,510		2,281		1,512		
	合計(A)	3,962		3,956		4,926		4,045		
事業費 人件費	正規職員	業務量	1.56 人	業務量	1.56 人	業務量	1.56 人	業務量	1.56 人	
		人件費	12,112	人件費	12,070	人件費	12,070	人件費	12,020	
	再任用職員	業務量	0.00 人	業務量	0.00 人	業務量	0.00 人	業務量	0.00 人	
		人件費	0	人件費	0	人件費	0	人件費	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	業務量	0.00 人	業務量	0.00 人	業務量	0.00 人	
	人件費	0	人件費	0	人件費	0	人件費	0		
	小計(B)		12,112		12,070		12,070		12,020	
	合計(A+B)		16,074		16,026		16,996		16,065	
	市民1人当たりのコスト(円)		181		183		194		186	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	事務費であるため		達成	-	-	/	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号
296 -

決算書頁
249

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)02農業総務費(大事業)04農道維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-02-04-01
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	広域農道・農免道路維持管理経費	担当部署	産業振興部農村整備課 課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	農道利用者		
	目的	農道利用者が安全に通行できるよう維持管理を行う。		
	根拠法令等	自治会等への草刈り業務委託実施要領		
	内容	<p>広域道路を常時良好な状態に保つよう、比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。また、路肩の除草、冬期には融雪剤散布等により道路機能を維持します。</p> <p>伊賀市農道総延長 L=199.9km、内直轄農道管理延長 L=38.0km</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域農道・農免道路舗装修繕 N=3箇所 その他修繕=N=2箇所 ・広域農道草刈業務委託 N=18箇所(シルバー1件、業者8件、地元9件) ・雪氷対策業務委託 N=3工区 ・土砂等撤去業務委託 N=4件(支障木撤去1件、生木枝葉・草処分3件 2.92t) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,545,276円	光熱水費 267,176円 修繕料 2,278,100円 農免道路須原富永線道路舗装補修工事他4件	
	委託料	12,772,314円	草刈業務委託料 18箇所 11,130,300円 (シルバー1件、業者8件、地元9件) 雪氷対策業務委託料 1,475,309円 土砂等撤去業務委託料 166,705円 広域農道諏訪工区支障木撤去業務他3件	
	原材料費	467,390円	資材費 467,390円	
	計	15,784,980円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	14,671	14,966	15,785	14,734
		合計(A)	14,671	14,966	15,785	14,734
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人
		人件費	3,106	3,095	3,095	3,082
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	小計(B)	3,106	3,095	3,095	3,082	
	合計(A+B)	17,777	18,061	18,880	17,816	
	市民1人当たりのコスト(円)	200	206	216	207	

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標	-	-	目標	-	-	-	-
			実績	-	-	/	/
			達成	-	-	/	/
指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。		達成	-	-	/	/

方向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-02-05-01	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	地すべり防止区域維持管理受託事業		産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	地すべり防止地域に指定された府中・大谷地区		
	目的	地すべり等防止法により指定されている地すべり防止区域の維持管理を受託して行う。		
	根拠法令等	地すべり等防止法(昭和33年法律第30号)第3条・第7条		
	内容	<p>地すべり等防止法(昭和33年法律第30号)により指定されている府中地区・三田地区の地すべり防止区域の巡視管理・状況調査の委託を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中地区(外山・坂之下・東条・西条・土橋・山神) A=392.9ha ・三田地区(大谷) A=36.3ha ・管理総面積 A=429.2ha 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	300,000円	地すべり防止区域維持管理委託料 300,000円	
			(府中地区): 外山・坂之下・東条・西条・土橋・山神	
			(三田地区): 大谷	
	計	300,000円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	300	300	300	315	地すべり防止区域維持管理事業委託金
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
		合計(A)	300	300	300	315	
事業費	人件費	正規職員	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	777	774	774	771	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0		
	会計年度任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0		
	小計(B)	777	774	774	771		
合計(A+B)	1,077	1,074	1,074	1,086			
市民1人当たりのコスト(円)		13	13	13	13		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		委員会及び避難訓練の実施	委員会及び避難訓練の実施回数	回	目標	2	2	2	2
					実績	2	2	/	/
	指標化できない成果			達成	100%	100%	/	/	

方向	継続	課題	
		改善案	

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)02農業総務費(大事業)07下水道事業

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	7-2 財政運営	H29 年度～	R6 年度	01-06-01-02-07-01
	基本事業	① 持続可能な財政運営	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	農業集落排水事業	担当部署	財務部財政課	課長 竹森 昭治 0595-22-9608

事務事業の概要	対象	農業集落排水事業		
	目的	農業集落排水処理施設の経営健全化を図る。		
	根拠法令等	総務省通知「地方公営企業繰出金について」		
	内容	<p>下水道事業会計農業集落排水事業において、農業集落排水処理施設の経営健全化を図るため、施設維持管理に要する直接的経費を使用料で賄うこととし、一般会計から次のとおり補助しました。</p> <p>【農業集落排水事業補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道事業債の償還に要する経費(元金・利息) 下水道事業人件費に要する経費 <p>【農業集落排水事業負担金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大山田農業集落家庭生活雑排水処理施設の維持管理に要する経費 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	676,855,574円 2,916,919円	農業集落排水事業補助 農業集落排水事業負担金	
	計	679,772,493円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	総務省の通知に基づく繰出金(補助・負担金)については、地方交付税等において考慮するものとされています。
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	680,504		680,684		679,772		669,804		
	合計(A)	680,504		680,684		679,772		669,804		
事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費		0	0	0	0	0	0	0		
	小計(B)	0	0	0	0	0	0	0		
	合計(A+B)	680,504		680,684		679,772		669,804		
	市民1人当たりのコスト(円)	7,624		7,754		7,743		7,751		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	成果を求める事業ではない。		達成	-	-	/	

方向	継続	課題
		改善案

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)01農業振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～	R6 年度	01-06-01-03-01-01
	基本事業	③ 担い手の確保・育成	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	農業振興事務経費	担当部署	産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	農林政策に係る関係機関		
	目的	関係機関との連携や情報収集・提供によって、円滑な事業推進を図る		
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内容	各関係機関・団体の活動を助成することにより、持続的な組織の育成を図り、特色ある地域農林業の確立に努めました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	使用料及び賃借料 負担金、補助及び交付金 委託料 計	72,000円 323,500円 197,000円 70,000円 66,000円 60,000円 45,000円 168,000円 330,000円 1,331,500円	寺田地区共同農機具保管庫用敷地賃貸借料 伊賀ふるさと農業振興協議会負担金 伊賀農業改良普及事業協議会負担金 伊賀園芸振興協議会負担金 青蓮寺開発地域営農対策協議会経費分担金 青空ネット伊賀(青空市推進協議会)支援事業補助金 全国山村振興連盟会費 40,000円 同 三重県支部会費 5,000円 伊賀市認定農業者協議会補助金 弁護士業務委託料	

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	行政財産目的外使用料(R5)	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0	0	902		
		一般財源	839	1,002	1,332	100					
		合計(A)	839	1,002	1,332	1,002					
	人件費	正規職員	業務量	0.16 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人		
			人件費	1,243	1,238	1,238	1,233				
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
小計(B)	人件費	0	0	0	0	0	0				
合計(A+B)	金額	2,082	2,240	2,570	2,235						
市民1人当たりのコスト(円)	金額	24	26	30	26						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績				
指標化できない成果	各種補助金、負担金であるため	達成	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

方向	改善	課題	今後の運営のあり方について検討が必要な協議会に対する理解や調整をまとめていくことが課題となっています。
		改善案	引続き、関係機関における課題等を議論・共有しながら積極的に参画するよう努めます。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)01農業振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H22 年度～ R6 年度	01-06-01-03-01-02
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	耕作放棄地再生利活用対策事業		産業振興部農林振興課
				評価責任者・連絡先 課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市内に所在する耕作放棄地(農業振興地域内農用地に限る)の解消する事業主		
	目的	耕作放棄地面積の減少および作物収量の向上		
	根拠法令等	伊賀市耕作放棄地再生事業補助金交付要綱		
	内容	耕作放棄地再生活動を計画する事業体に対し、10aあたりの単価を設定し交付金の補助を行いました。 補助金の単価として、 ・耕作放棄地を解消し、菜種の作付けが見込まれる農地・・・10aあたり50,000円 ・耕作放棄地を解消し、有機農業による作物の作付けが見込まれる農地・・・10aあたり50,000円 ・上記以外で耕作放棄地を再生する農地・・・10aあたり30,000円の3タイプを挙げています。 令和4年度では、中柘植地区の1経営体が事業を実施し、菜種を作付けることを目的として3,913㎡の耕作放棄地を再生しました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	170,000円	耕作放棄地再生事業補助金 170,000円 (中柘植地区:3,913㎡)※予算の範囲内で支出	
	計	170,000円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	0		0		0		0		
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	169		170		170		480		
	合計(A)	169		170		170		480		
事業費 人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.20 人				
		人件費	777	774	774	1,541				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	777	774	774	1,541						
合計(A+B)	946	944	944	2,021						
市民1人当たりのコスト(円)		11		11		11		24		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	交付面積・農地面積	耕作放棄地の活用のため、取組、農地として活用可能となる農地面積	10a	目標	4	4	10	15
				実績	3.3	3.9		
指標化できない成果			達成	82.5%	97.5%			

方向	改善	課題	耕作放棄地に対する問い合わせや当該事業についての相談も増加している一方、予算の都合上実施する面積に限りがあります。
		改善案	規模や要件にもよるが、類似する国の事業もあるため、合わせて啓発をおこないます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-02-01
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当部署	部・課名等
	事務事業名	農業振興地域整備計画促進事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	農業振興地域		
	目的	農業振興地域内の農地転用の制限により、優良農地の減少を抑制する		
	根拠法令等	農業振興地域の整備に関する法律、農地法、伊賀市農業委振興地域整備促進協議会条例、伊賀市農業振興地域整備計画		
	内容	<p>農業振興地域整備計画の変更について、「農業振興地域の整備に関する法律」及び「農地法」に基づき、適正な管理を行いました。</p> <p>【一般管理】 年2回募集を行い、農用地利用計画の変更(編入、除外)手続き等を行いました。 ・第1回(8月15日～9月30日まで) 編入 1件 921㎡ 除外 8件 20,751㎡ ・第2回(2月15日～3月31日まで) 編入 0件 除外 6件 6,978㎡</p> <p>【軽微変更】 随時募集していますが、申出はありませんでした。</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	報酬	84,000円	農業振興地域整備促進協議会委員報酬	
	旅費	9,842円	農業振興地域整備促進協議会委員旅費	
	計	93,842円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	複写料 12,940円
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	38	13	38	0	38	0	38	
	一般財源	109	88	81	109	81	109	81	109	
	合計(A)	109	126	94	119	94	119	94	119	
事業費 人件費	正規職員	業務量 0.44 人	0.44 人	0.44 人	0.44 人	0.44 人	0.44 人	0.44 人	0.44 人	
	人件費	3,417	3,405	3,405	3,417	3,405	3,417	3,405	3,391	
	再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計(B)	3,417	3,405	3,405	3,417	3,405	3,417	3,405	3,391	
	合計(A+B)	3,526	3,531	3,499	3,526	3,499	3,526	3,499	3,510	
	市民1人当たりのコスト(円)	40	41	40	40	40	40	40	41	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	農用地面積	減少傾向にある農用地面積を抑制する	ha	目標	6255	6253	6251	6249
				実績	6255	6252		
指標化できない成果			達成	100%	99%			

方向	改善	課題	農業者の後継者不足等により耕作されない農地がさらに増えることが懸念されます。
	改善案		引続き、優良農地の確保及び転用の制限に努め、法律に基づき適切に事務を進める必要があります。また、中山間地域等直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業の担当者と連携を図りながら事業の啓発に努めます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-03-01	
	基本事業	③ 担い手の確保・育成	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	農業経営基盤強化促進事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	農業経営を営み、又は営もうとする者		
	目的	農業経営改善計画を審査して、担い手を育成する		
	根拠法令等	農業経営基盤強化促進法、伊賀市農業経営基盤強化促進協議会条例、農業委経基盤の強化の促進に関する基本的な構想		
	内容	農業経営者から申請された農業経営改善計画認定申請書を伊賀市農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に沿って年4回審査を行い認定します。 農業経営改善計画は新規15件、更新31件、変更6件を認定しました。青年等就農計画は新規3件を認定しました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		報酬	210,000円	農業経営基盤強化促進協議会委員報酬 210,000円
		旅費	25,493円	農業経営基盤強化促進協議会委員旅費 25,493円
		計	235,493円	

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	231	298	235	289		
	合計(A)	231	298	235	289			
	事業費	正規職員	業務量	0.43 人	0.43 人	0.43 人		0.43 人
			人件費	3,339	3,327	3,327		3,314
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
小計(B)	3,339	3,327	3,327	3,314				
合計(A+B)	3,570	3,625	3,562	3,603				
市民1人当たりのコスト(円)	40	42	41	42				

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	認定農業者数	農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想に合致する農業経営体数	人	目標	230	233	236	240
				実績	214	217	/	/
指標化できない成果			達成	93%	93%	/	/	

方向	改善	課題	資材、肥料、燃料等の高騰により農業経営費が向上しており、農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想に合致する農業経営体が減少しています。
		改善案	三重県伊賀農林事務所、伊賀ふるさと農協と連携して広報、ホームページ等で制度を周知します。また、農業経営改善計画認定申請書の受付時に経営改善についてフォローします。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H24 年度～ R4 年度	01-06-01-03-03-02	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	人・農地プラン作成事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	集落、地域、農業者		
	目的	持続可能な農業を実現するため、地域の中心となる経営体を確保し、農地集積を進める		
	根拠法令等	人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業実施要綱		
	内容	<p>集落、地域での話し合いにより、地域の中心となる経営体への農地集積など、地域農業のあり方を記載した「人・農地プラン」の作成等、必要な支援を行いました。</p> <p>支所別説明会については、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、開催はできませんでしたが、要請のあった地区には三重県、JA伊賀ふるさと連携しながら随時出向いて意見交換等を行いました。</p> <p>令和4年度においては、新規で4プランの作成があり、既設プランについては9プランの見直しをおこないました。</p> <p>また、プランの新規作成や更新に伴い、プランに位置付けられた経営体の延数が296となりました。</p> <p>※令和5年4月に農業経営基盤強化促進法が改正されたことにより、「人・農地プラン」から「地域計画」へと変更されることとなりました。</p> <p>令和4年度までは、集落から提出された「人・農地プラン」について、伊賀市人・農地プラン検討会議を経て市が認定をしましたが、法改正により、令和7年3月末までに市が「地域計画」を策定することになりました。そのため、従来の「人・農地プラン」を認定する必要がなくなり、また、これに対する国の事業もなくなりました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	174,000円	委員報酬	
	旅費	23,680円	委員旅費	
	需用費			
	消耗品費	22,520円	消耗品費(事務用品等)	
	印刷製本費	4,800円	資料地図印刷	
	計	225,000円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 担い手育成・確保等対策事業費補助金等 (人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業) 225,000円	
		国県支出金	0	300	225	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	175	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	175	300	225	0			
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.63 人	0.63 人	0.63 人		0.00 人
			人件費	4,892	4,875	4,875		0
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)		4,892	4,875	4,875	0		
	合計(A+B)		5,067	5,175	5,100	0		
	市民1人当たりのコスト(円)		57	59	59	0		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	中心となる経営体の数	「人・農地プラン」に位置づけられた経営体数(延数)	体	目標	240	243	/	/
				実績	240	296	/	/
指標化できない成果			達成	100%	122%	/	/	

方向	完了	課題	令和5年度から地域計画に移行します。
	改善案	令和5年度から地域計画に移行します。	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-03-03
	基本事業	③ 担い手の確保・育成	担当部署	部・課名等
	事務事業名	新規就農者総合支援事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	独立・自営就農時の年齢が原則50歳未満の認定新規就農者		
	目的	次世代を担う農業者に対して農業経営の安定および発展のための資金を交付して支援する		
	根拠法令等	新規就農者育成総合対策実要綱、伊賀市農業次世代人材投資事業実施要綱		
	内容	<p>次世代を担う農業者に対して就農直後の経営確立に資する資金を交付します。また、経営発展のために必要な機械・施設の導入費用を補助します。農業次世代人材投資資金については交付3年目終了時点で中間評価を行い、農業経営が計画通りに行われているかを審査します。</p> <p>農業次世代人材投資資金 5名(うち夫婦2名)に7,500,000円を交付。 経営発展支援事業 1名に3,750,000円を交付。 経営開始資金 2名に1,500,000円を交付。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	6,629円	中間評価会 委員謝礼 6,629円	
	負担金、補助及び交付金	12,750,000円	農業次世代人材投資資金 7,500,000円 経営発展支援事業 3,750,000円 経営開始資金 1,500,000円	
	計	12,756,629円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	
直接事業費	国県支出金	5,784	8,864	12,757	10,507	新規就農者総合支援事業費補助金 7,506,629円				
	地方債	0	0	0	0	新規就農者育成総合対策事業費補助金 5,250,000円				
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	0					
	合計(A)	5,784	8,864	12,757	10,507					
事業費	正規職員	業務量	0.70 人	0.70 人	0.70 人	0.70 人				
		人件費	5,435	5,416	5,416	5,394				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
	人件費	0	0	0	0					
	小計(B)	5,435	5,416	5,416	5,394					
	合計(A+B)	11,219	14,280	18,173	15,901					
	市民1人当たりのコスト(円)	126	163	207	185					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
				目標	実績	達成	達成率	目標	実績	達成	達成率	目標	実績	達成	達成率	目標	実績	達成	達成率
農業次世代人材投資資金、経営発展支援事業、経営開始資金の交付者数	農業次世代人材投資資金、経営発展支援事業、経営開始資金を交付した人数	人	目標	6	6	6	6												
			実績	5	8														
指標化できない成果			達成	83%	134%														

方向	改善	課題	交付要件が年度ごとに変更なり内容も詳細に及ぶため、要件を満たすことができない新規就農者が多くなっています。
	改善案	改善案	三重県伊賀農林事務所、伊賀ふるさと農業協同組合と連携して十分に聞き取りを行い、要件を満たすことができるようにフォローします。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H26 年度～ R6 年度	01-06-01-03-03-04	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	農地集積協力金交付事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	集落、地域、農業者		
	目的	地域の中心経営体への農地集積や分散錯圃の解消を目的に、農地中間管理事業を促進する		
	根拠法令等	農地集積・集約化等対策事業実施要綱		
	内容	<p>担い手への農地集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構を通じて農地を貸し付けた地域に対し協力金を交付しました。</p> <p>【地域集積協力金】 人・農地プランに基づき農地中間管理機構にまとまった農地を貸し付けた場合、集積割合に応じて地域に対し交付する協力金 (令和4年度実績:4地区 農地中間管理機構への貸付面積:約16.84ha)</p> <p>【経営転換協力金】 人・農地プランに基づき機構へ自作地を貸し付けた農業者等で、農業部門の減少により経営転換する農業者や、リタイアする農業者などに交付する協力金 (令和4年度実績なし)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	9,560円	旅費	9,560円
	消耗品費	517,742円	PPC用紙	101,695円
			その他事務用品(コピー用紙、ファイル、ペン等)	416,047円
	使用料及び賃借料	46,200円	機械器具借上料	46,200円
	負担金、補助及び交付金	2,995,600円	地域集積協力金	2,995,600円
	計	3,569,102円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 農用地利用集積特別対策事業費補助金 2,995,600円 中間管理事業業務委託金 573,502円	
		国県支出金	7,829	10,400	2,996	10,400		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	1,688	823	573	755		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	9,517	11,223	3,569	11,155		
	事業費	人件費	正規職員	業務量	0.37 人	0.37 人	0.37 人	0.37 人
				人件費	2,873	2,863	2,863	2,851
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
				人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員			業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
	人件費	1,596	1,617	1,617	1,679			
	小計(B)	4,469	4,480	4,480	4,530			
	合計(A+B)	13,986	15,703	8,049	15,685			
	市民1人当たりのコスト(円)	157	179	92	182			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	機構活用面積	農地中間管理機構を活用している合計面積	ha	目標	750	760	770	780
				実績	754	780	/	/
指標化できない成果			達成	101%	102%	/	/	

方向	改善	<p>農地中間管理事業の活用は順調に増加しているものの、機構集積協力金の交付に関する国・県の要件が平成26年度当初と比較して、年々厳しくなっています。 令和5年度以降、さらに厳しくなる見込であり、事業を活用できる地域が減少することが懸念されます。</p>
	改善案	<p>制度が大幅に変更される過渡期ではありますが、事業を少しでも活用できるよう、県・JAIがふるさと連携を密に取りながら国の動向を注視します。また、同制度を活用している、活用しようとしている地域に対しては、その地域が抱える地域特有の課題や問題などについて状況把握するとともに、解決に向け県・JAIがふるさととの三者で助言を行います。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-04-01	
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	農業経営基盤強化資金等利子助成事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	認定農業者		
	目的	認定農業者の経営規模の拡大及び経営の効率化を図る		
	根拠法令等	伊賀市農業経営基盤強化資金利子補給金交付要綱、伊賀市産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内容	認定農業者が借り入れた農業制度資金に関し、その利子を助成しました。 農業経営基盤強化資金利子助成 3件 143,899円 農業経営近代化資金利子助成 67件 738,741円		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	882,640円	農業経営基盤強化資金利子助成金	143,899円
			中核農業者育成資金利子助成金	738,741円
	計	882,640円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 農業経営基盤強化資金利子補給補助金 71,922円	
		国県支出金	66	123	72	95		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	887	1,004	811	941		
	合計(A)	953	1,127	883	1,036			
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.08 人	0.08 人	0.08 人		0.08 人
			人件費	622	619	619		617
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	622	619	619	617			
	合計(A+B)	1,575	1,746	1,502	1,653			
	市民1人当たりのコスト(円)	18	20	18	20			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	対象者適用比率	申請者に対して利子補給した割合	%	目標	100	100	100	100
				実績	100	100	/	/
指標化できない成果			達成	100%	100%	/	/	

方向	改善	課題	融資機関からの必要書類の提出について、市が指定する提出期限を過ぎることが多く、利子補給金の支払い時期が遅くなります。
		改善案	融資機関に対し、必要書類の作成依頼を現在より早期に実施するとともに、提出期限の厳守を促します。

整理番号
307 -

決算書頁
251

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)05鳥獣害防止事業

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～	R6 年度	01-06-01-03-05-01
	基本事業	③ 担い手の確保・育成	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	鳥獣害防止事業	担当部署	産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	鳥獣害被害を被る農山村住民			
	目的	有害鳥獣の侵入を防ぎ被害の防除、軽減による農業経営の安定化、住環境の向上を図る			
	根拠法令等	伊賀市鳥獣害に負けない地域づくり推進事業実施要領、伊賀市鳥獣害防止施設設置事業補助金交付要綱			
	内容	<p>●伊賀市鳥獣害対策協議会を介して、伊賀市鳥獣害に負けない地域づくり推進(ソフト・ハード)事業に要する経費の一部を負担しました。</p> <p>○伊賀市鳥獣害に負けない地域づくり推進(ソフト)事業 18自治協 合計2,760,255円 ・自治協で管理する捕獲檻、わなの購入:1,312,895円 ・追い払い資材:908,581円 ・防止体制の整備:372,950円 ・狩猟免許取得6名への免許取得経費・調査体制の使用機器:160,981円 ・普及啓発活動:4,848円</p> <p>○伊賀市鳥獣害に負けない地域づくり推進(ハード)事業 16自治協(30地区) 合計4,103,186円 事業費4,686,138円 (うち、地域からの地元負担金582,952円)</p> <p>●伊賀市鳥獣害対策協議会から(一社)獣害対策先進技術管理組合に作業委託し、伊賀市内のサルの頭数調査を実施しました。</p> <p>○ニホンザル頭数調査費:375,024円 ○事務費:116,538円</p> <p>●獣害防止施設設置事業補助金 16,300円 農山村の鳥獣害を防止するため、市内の農地所有者に対し、電気柵等の共同防止設備設置に必要な購入資材の資材費の20%を補助し、1件の申請者に支出しました。</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	伊賀市鳥獣害対策協議会事業負担金	7,355,003円	ソフト事業 ハード事業 ニホンザル頭数調査費 事務費	2,760,255円 4,103,186円 375,024円 116,538円	
	獣害防止施設設置事業補助金	16,300円	補助件数 1件	16,300円	
	計	7,371,303円			

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	7,565	8,647	7,371	8,322		
	合計(A)	7,565	8,647	7,371	8,322			
	事業費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人		1.00 人
			人件費	7,764	7,737	7,737		7,705
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
人件費	0	0	0	0				
小計(B)	7,764	7,737	7,737	7,705				
合計(A+B)	15,329	16,384	15,108	16,027				
市民1人当たりのコスト(円)	172	187	173	186				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	侵入防止柵の修繕を実施する地区数	侵入防止柵の耐用年数を把握し、更新・修繕が必要な地区のハード事業申請数	%	目標	24	25	19	26
				実績	24	30		
指標化できない成果			達成	100%	120%			

方向	改善	課題	平成21年度から26年度の間に設置された侵入防止柵は、資材の耐用年数がメーカー指定で14年間とされており、平成21年度設置の侵入防止柵は耐用年数を超過しております。今後は脆弱性が増す可能性があるため、順次新しい資材に更新していく必要があります。
	改善案		ハード事業による補修事業(市費)を従来どおり行いつつ、補修をしているにもかかわらず鳥獣被害が発生している地区の侵入防止柵を、山間部から農地周辺への設置場所変更も合わせて、更新の申請を該当地区住民自治協議会に啓発します。また、国費の1mあたりの上限額(2,415円/m)で設置できる資材の導入を検討します。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-06-01
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	伊賀米生産振興経費	産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀米生産農業者、関係事業者及び地域の消費者、経営所得安定対策対象農業者		
	目的	伊賀米の生産基盤保持や安全安心な体制構築、経営所得安定対策等や伊賀米普及事業を推進する		
	根拠法令等	経営所得安定対策等推進事業実施要綱、伊賀米振興協議会規約		
	内容	<p>稲作栽培の技術向上及び米の品質向上を図り、「伊賀米」ブランドの普及、販売拡大に努めました。また、国の対策である経営所得安定対策の実施に必要な推進活動及び事務を実施しました。</p> <p>伊賀市農業再生協議会業務委託料 委託先:伊賀市農業再生協議会 主な業務:経営所得安定対策の推進及び関係事務、営農計画書の配布件数は約7,000件。交付申請件数約500件。 伊賀米振興協議会負担金 伊賀米振興協議会に参画し、伊賀米のPRの方法や食味の向上について検討をしました。 麦大豆生産性向上事業補助金 市内の申請者2団体に対して機械導入費、及び小麦・大豆の耕作における新技術の導入に関する、補助金の交付を行いました。 国産小麦産地生産性向上事業補助金 市内の申請者2団体に対して機械導入費、及び小麦の耕作における新技術の導入に関する、補助金の交付を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	12,597,000円	伊賀市農業再生協議会業務委託料	
	需用費	28,000円	消耗品	
	負担金、補助及び交付金	2,485,000円	伊賀米振興協議会負担金	
		4,551,545円	米・麦・大豆生産総合対策事業費補助金	
		12,606,181円	国産小麦産地生産性向上事業費補助金	
	計	32,267,726円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 経営所得安定対策等推進事業費補助金 14,546,000円 (会計年度任用職員分含む) 米・麦・大豆生産総合対策事業費補助金 4,551,545円 国産小麦産地生産性向上事業費補助金 12,606,181円
		国県支出金	24,581	12,476	29,783	12,535	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	2,486	2,485	2,485	2,489	
		合計(A)	27,067	14,961	32,268	15,024	
	事業費	正規職員	業務量	1.19 人	1.69 人	1.69 人	1.69 人
			人件費	9,240	13,076	13,076	13,022
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
	人件費	1,596	1,617	1,617	1,679		
	小計(B)	10,836	14,693	14,693	14,701		
	合計(A+B)	37,903	29,654	46,961	29,725		
	市民1人当たりのコスト(円)	425	338	535	344		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	伊賀米の一等比率	農産物検査における一等米の比率	%	目標	70%	70%	70%
				実績	74%	70.8%	
指標化できない成果			達成	105.7%	100%		

方向	改善課題	<p>伊賀米の一等米比率は、天候に左右されやすいため安定した品質の確保が課題となっています。また、伊賀米の認知度について高める必要があります。協議会の運営については、伊賀市の意見や要望等が反映されるようにする必要があります。伊賀米の安定した出荷量が確保できるよう協議会の運営を行う必要があります。</p>
	改善案	<p>伊賀米の品質の向上に向けた、データの収集を行い、伊賀米振興協議会のメンバーでもあるJAIがふるさとや県普及センター等を通じ米の品質を改善できるよう指導が行います。また、効率的なPRができるよう検討します。今後、伊賀米振興協議会について伊賀市の意見が反映されるよう適切な発言を行っていきます。</p>

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)07中山間地域等直接支払交付金事業	決算書頁
309 -		251

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-07-01
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業	担当部署	産業振興部農林振興課 課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	集落協定締結集落及び集落協定参加者		
	目的	農業生産条件の不利益な中山間地域等において集落等を単位に農用地を維持・管理し、農地の有する多面的機能を発揮する取組を行う		
	根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内容	<p>中山間地域等直接支払交付金第5期対策の集落協定作成の指導を行いました。 集落協定締結集落に対して、中山間地域等直接支払交付金を交付しました。 また、新規取組集落の相談を実施し事業を推進しました。</p> <p>交付金額(体制整備単価) 水田急傾斜:21,000円/10a、水田緩傾斜:8,000円/10a、畑急傾斜:11,500円/10a、畑緩傾斜3,500円/10a 集落協定地区 65集落(令和2年度実績)、70集落(令和3年度実績)、72集落(令和4年度実績) 取組面積 948ha 交付金合計 126,159,430円</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	126,159,430円	中山間地域等直接支払交付金	126,159,430円
	消耗品費	53,520円	雨具、ファイル他	53,520円
	電算機借上料	480,480円	中山間地域等直接支払制度支援システム	480,480円
	計	126,693,430円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費		
事業費	直接事業費	国県支出金	85,169		91,210		91,626		93,597	中山間地域等直接支払交付金 91,092,361円 中山間地域等直接支払推進事業費補助金 534,000円	
		地方債	0		0		0		0		
		その他	0		0		0		0		
		一般財源	34,768		37,727		35,067		35,715		
		合計(A)	119,937		128,937		126,693		129,312		
	人件費	正規職員	業務量	1.18 人		1.68 人		1.68 人			1.68 人
			人件費	9,162		12,999		12,999			12,945
		再任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
			人件費	0		0		0			0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
人件費	0		0		0		0				
小計(B)	9,162		12,999		12,999		12,945				
合計(A+B)	129,099		141,936		139,692		142,257				
市民1人当たりのコスト(円)	1,447		1,617		1,592		1,647				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	集落協定の活動ができる組織	集落協定内容を遵守し活動ができる組織の数	件	目標	70	72	72	72
				実績	70	72		
指標化できない成果			達成	100%	100%			

方向	改善	課題	令和2年度から令和6年度までの第5期対策において、70集落協定が作成されました。令和4年度に新たに2集落が作成されましたが、高齢化や後継者不足により協定の活動を維持することは容易ではありません。また、現地確認についてかなりの時間を要しています。
	改善案		集落内の話し合い等により活動を継続できるよう支援を行います。現地確認や実績報告ヒアリング時に集落協定代表者から現状と課題の聞き取りをし、先進的な取り組みを行う集落の事例を紹介したり、集落代表者の事務負担が軽減されるような提案を行います。現地確認について省力化できるよう検討します。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-08-01
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	農業公園管理経費		評価責任者・連絡先
			産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市民ふれあい農園利用者及び伊賀市農業公園利用者		
	目的	市民ふれあい農園の利用者を増加させ、農業振興施策に繋げる		
	根拠法令等	伊賀市農業公園の設置及び管理に関する条例、伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例		
	内容	<p>市民の憩い・交流・農業体験を促進し、市民のふれあい及び健康づくり、地域の活性化を図る取り組みを進めています。</p> <p>【市民ふれあい農園契約区画数】115区画(総区画数:246区画) 【実施したイベント】 秋の収穫祭(どろんこ芋掘り) … 参加者166人 保育園芋ほり体験 …………… 参加者88人 ブルーベリー収穫体験 …………… 参加者463人(延べ人数)</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	委託料	5,144,000円	農業公園指定管理料 指定管理者:明日が楽しみな里づくり委員会	
	使用料及び賃借料	713,965円	土地建物借上料	
	需用費	5,000円	消耗品費	
	備品購入費	175,000円	管理機	
	負担金、補助及び交付金	26,769円	青蓮寺用水土地改良区 経常賦課金	
	計	6,064,734円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	行政財産目的外使用料 34,290円 (自動販売機設置にかかる使用料)
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	32	32	32	32	32	32	32	32	
	一般財源	5,968	6,146	6,033	6,244	6,033	6,244	6,033	6,244	
	合計(A)	6,000	6,178	6,065	6,276	6,065	6,276	6,065	6,276	
事業費 人件費	正規職員	業務量 0.05 人	0.05 人	業務量 0.05 人	0.05 人	業務量 0.05 人	0.05 人	業務量 0.05 人	0.05 人	
		人件費 389	387	人件費 387	387	人件費 387	386	人件費 386	386	
	再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	業務量 0.00 人	0.00 人	業務量 0.00 人	0.00 人	業務量 0.00 人	0.00 人	
		人件費 0	0	人件費 0	0	人件費 0	0	人件費 0	0	
	会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	業務量 0.00 人	0.00 人	業務量 0.00 人	0.00 人	業務量 0.00 人	0.00 人	
	人件費 0	0	人件費 0	0	人件費 0	0	人件費 0	0		
	小計(B)	389	387	387	387	387	386	386	386	
	合計(A+B)	6,389	6,565	6,452	6,662	6,452	6,662	6,452	6,662	
	市民1人当たりのコスト(円)	72	75	74	78	74	78	74	78	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	市民ふれあい農園利用 区画数	市民ふれあい農園の貸付利 用区画数	区画	目標	120	130	140	150
				実績	99	115		
指標化できない成果			達成	82.5%	88.4%			

方向	改善	課題	<p>契約区画数が全体の46.7%と半数を割り込んでおり、対目標比は88.4%と2年連続80%を超え高い水準であるものの、今後も農園区画契約を増やしていく必要があります。 特に認知度を高める広報活動に注力していく必要があり、インターネットのHPやSNSを活用していきます。</p>
	改善案	<p>公式ホームページは作成されていますが、更新を行う人が足りないために作成当時のままとなっているページが多々あり、停滞しています。InstagramやFacebookなど、更新が容易にできるSNSを活用した情報発信の方法を検討し、試験的に実施していきます。 併せて、広告、広報、ケーブルテレビ等のメディアを活用していくなど、多角的な情報発信を指定管理者と連携し進めていきます。</p>	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	7-2 財政運営	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-09-01
	基本事業	② 公有財産の有効活用	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	農村環境改善センター維持管理経費	産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	農村環境改善センターの利用者		
	目的	改善センターの維持管理業務を行い、市民各種団体による各種会議・各種講座に利用できる。		
	根拠法令等	大山田農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例・大山田農村環境改善センター管理規則		
	内容	<p>以下のとおり施設修繕を行いました。</p> <p>令和4年5月:冷温水発生機保守業務 1,155,000円 令和5年1月:地下タンク及び埋設配管漏れ検査 99,000円 令和5年2月:高架水槽清掃及び消毒業務 55,000円 令和5年3月:消防設備点検改修 330,000円 ※照明器具の不具合箇所は5年度に対応予定</p> <p>ホールは吊り天井のため使用不可としています。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	793,800円	消耗品費 10,966円 燃料費 227,378円 光熱水費 126,456円 修繕費 429,000円	
	役務費	99,000円	手数料 99,000円	
	委託料	2,980,847円	施設維持管理(中部環境技術センター) 1,430,000円 空調設備保守点検(名阪設備) 1,155,000円 清掃(いわの美装) 340,847円 清掃(ビルドコーポレーション) 55,000円	
	使用料及び賃借料	693,960円	土地建物借上料・機械器具借上料 693,960円	
	計	4,567,607円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	大山田農村環境改善センター使用料 99,520
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	46	150	100	150	100	150	100	150	
	一般財源	3,526	4,642	4,468	6,126	4,468	6,126	4,468	6,126	
	合計(A)	3,572	4,792	4,568	6,276	4,568	6,276	4,568	6,276	
事業費	正規職員	業務量	0.16 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	
		人件費	1,243	1,238	1,238	1,233	1,238	1,233	1,233	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
小計(B)		1,243	1,238	1,238	1,233	1,238	1,233	1,233		
合計(A+B)		4,815	6,030	5,806	7,509	5,806	7,509	7,509		
市民1人当たりのコスト(円)		54	69	67	87	67	87	87	87	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	利用者数	大山田農村環境改善センターの利用者数	人	目標	10,000	5,000	5,000	5,000
				実績	3,030	2,626		
指標化できない成果			達成	30.3%	52.5%			

方向	統合	課題	施設および設備の老朽化により、多くの箇所では修繕が必要な状況が続いています。優先度の高い箇所から修繕を実施していますが、未着手の部分も残っています。施設利用者も低調で、吊り天井により多人数の利用が見込めるホールを使用禁止とするなど、目標指標である利用者数の増加が難しい状況です。
	改善案	施設修繕については今後も優先順位をつけて実施していきます。一部を使用禁止としているため、令和4年度以降の目標値を下方修正しました。引き続き、施設利用の周知など利用者増につながる取り組みを進めていきますが、同時に施設の統合、廃止、縮小についても検討を進めていきます。	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-10-01	
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	循環型農業実現モデル推進事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	菜の花プロジェクトに取り組む市民・団体(菜の花プロジェクト推進協議会を含む)、農村景観、地域経済		
	目的	菜の花プロジェクトを推進し、遊休農地での菜の花栽培や特産品販売拡大を通じて地域活性化を図る		
	根拠法令等	伊賀市バイオマスタウン構想、伊賀市菜の花プロジェクト推進協議会規約		
	内容	<p>遊休農地を利用して菜の花等資源作物を栽培することで、農村地域の景観形成を図りながら循環型農業を目指す「菜の花プロジェクト」を推進しました。</p> <p>また、菜の花プロジェクト推進協議会を通じて、菜の花を核とした活動により農村地域だけに限らず市街地も含めた地域活性化を図りました。</p> <p>循環型農業を通じ、地域の活性化及び遊休農地の解消等の解決を図りました。</p> <p>令和4年度の種子配布の人数は、63人です。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	751,423円	伊賀市菜の花プロジェクト推進業務委託料	
	消耗品費	645,150円	菜種種子購入費等	
	計	1,396,573円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	ふるさと応援基金 1,397,000円	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	1,579	1,397	1,380		
		一般財源	1,282	0	0	0		
		合計(A)	1,282	1,579	1,397	1,380		
	事業費	正規職員	業務量	0.27 人	0.27 人	0.27 人		0.27 人
			人件費	2,097	2,089	2,089		2,081
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
人件費	0		0	0	0			
	小計(B)	2,097	2,089	2,089	2,081			
	合計(A+B)	3,379	3,668	3,486	3,461			
	市民1人当たりのコスト(円)	38	42	40	41			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	菜種の生産数量	市内で収穫・出荷された菜種の数量	kg	目標	21000	22000	23000	24000
				実績	14019	38629	/	/
指標化できない成果			達成	66.7%	175.5%	/	/	

方向	改善	課題	菜種油の販路が少ないため、市も参画する菜の花プロジェクトでの販路拡大を図り、資源循環型モデルを構築します。
	改善案	伊賀産菜種油の地域ブランド化やPRIについて検討し、イベントへ積極的に参加します。	

整理番号
313 -

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)11特産農産物等振興事業

決算書頁
253

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-11-01
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当部署	部・課名等
	事務事業名	特産農産物等振興事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	特定の農産物を栽培する生産組織及び生産者。近隣及び大都市圏の消費者																			
	目的	伊賀の特産食材の流通量の増加、生産意欲の向上、生産拡大を図る																			
	根拠法令等	伊賀市特産農産物等生産振興支援事業補助金交付要綱、食育基本法、伊賀市食育推進計画策定会議設置要綱																			
	内容	<p>特産農産物(搾油用菜種、アスパラガス)の生産、流通の構造改革を推進し、農産物の高付加価値化と栽培農家の経営向上を図りました。</p> <p>菜種 24件、38,629kgの搾油用菜種について交付金を交付しました。 アスパラガス 630本分のアスパラの株について交付金を交付しました。</p> <p>多様な伊賀産食材を使用し、市内小中学校にて月2回(夏休み期間を除く)程度「いがスマイル給食」として提供することによって、地産地消の推進と地元食材に関する知識を深めるきっかけをつくり、将来こどもたちに伊賀市の食材を積極的に選んでもらえるよう食育の推進を行いました。また、スマイル給食の献立について、伊賀市ホームページにてレシピを公開し、家庭でも伊賀産食材の味を楽しめるようにするとともに、地産地消に関して話し合いをもてる契機をつくりました。</p> <p>9施設 延べ150回</p> <p>伊賀市食育推進計画策定会議の委員の報酬を支払いました。</p>																			
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び補助金</td> <td>1,950,350円</td> <td>特産農産物等生産振興支援事業助成金</td> </tr> <tr> <td>需用費 賄材料費</td> <td>20,286,082円</td> <td>いがスマイル給食材料費</td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>60,000円</td> <td>食育推進計画策定委員報酬</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>9,100円</td> <td>食育推進計画策定委員交通費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22,305,532円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び補助金	1,950,350円	特産農産物等生産振興支援事業助成金	需用費 賄材料費	20,286,082円	いがスマイル給食材料費	報酬	60,000円	食育推進計画策定委員報酬	旅費	9,100円	食育推進計画策定委員交通費	計	22,305,532円			
経費	金額	摘要																			
負担金、補助及び補助金	1,950,350円	特産農産物等生産振興支援事業助成金																			
需用費 賄材料費	20,286,082円	いがスマイル給食材料費																			
報酬	60,000円	食育推進計画策定委員報酬																			
旅費	9,100円	食育推進計画策定委員交通費																			
計	22,305,532円																				

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0		0		0		0		ふるさと応援基金 22,236,432円
	地方債	0		0		0		0		
	その他	20,694		21,956		22,236		22,679		
	一般財源	1,011		195		70		60		
	合計(A)	21,705		22,151		22,306		22,739		
事業費	正規職員	業務量	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人		
		人件費	5,823	5,803	5,803	5,779				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
人件費		0	0	0	0					
小計(B)	5,823	5,803	5,803	5,779						
合計(A+B)	27,528	27,954	28,109	28,518						
市民1人当たりのコスト(円)	309	319	321	331						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	いがスマイル給食の品目数	いがスマイル給食の品目数	個	目標	30	30	30	30
				実績	31	31		
指標化できない成果			達成	103%	103%			

方向	改善	課題	スマイル給食のメニューについて、伊賀牛が中心になり果樹等の利用が限定的になりがちです。
	改善案		取り扱い食材の範囲を拡大することで、メニューの増加を検討し、利用が少なかった地元産野菜・果樹等も積極的に利用します。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-12-01	
	基本事業	③ 担い手の確保・育成	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	有害鳥獣駆除事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	被害農家等、地元の猟友会及び会員		
	目的	有害鳥獣個体数の減少による生息数の適正化及び農作物・畑作物被害の削減を図る		
	根拠法令等	鳥獣保護法、伊賀市鳥獣被害防止計画、伊賀市アライグマ・ヌートリア防除実施計画		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業：住民自治協議会からの依頼を受け、有害鳥獣捕獲許可期間(R4年4月1日～5年3月15日)に獣害駆除及び捕獲を行う申請者に対し許可を下ろし、伊賀市猟友会を介して報償費を支出しました。 ○報償費 支払件数:134名 26,157,000円 ・シカ2,395頭(@9,000円)21,555,000円 ・イノシシ498頭(@9,000円)4,482,000円 ・サル4頭(@30,000円)120,000円 ●有害鳥獣駆除奨励事業：伊賀市猟友会を介し、有害鳥獣捕獲に係る出役手当、幼獣捕獲報償金、安全対策経費を支出しました。 ○委託料 支払件数:237名 6,948,519円 ・有害鳥獣捕獲出役料:2,651,519円(出役日数3,480日) ・安全対策費1,422,000円(1名 6,000円) ・幼獣捕獲報償金2,875,000円(イノシシ273頭・シカ132頭(@7,000円) ・サル4頭(@10,000円)) ●特定外来種駆除業務：アライグマ、ヌートリアによる被害を受ける市民に対して防除実施計画に基づく捕獲従事者登録を行って捕獲檻を貸与し、捕獲獣の殺処分を行いました。 ・特定外来種駆除委託料:921,500円(令和4年度処分回数97回・処分頭数465頭)※1回につき9,500円 委託先:伊賀市猟友会 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	26,157,000円	鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業	
	有害鳥獣駆除奨励事業	6,948,519円	有害鳥獣駆除奨励委託料	
	特定外来種駆除業務	921,500円	特定外来種駆除委託料	
	計	34,027,019円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 鳥獣被害防止総合対策事業費補助金: 19,588,000円
		国県支出金	19,470	22,480	19,588	17,564	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	12,121	14,522	14,439	13,086	
	合計(A)		31,591	37,002	34,027	30,650	
	事業費	正規職員	業務量	1.01 人	1.01 人	1.01 人	1.01 人
			人件費	7,842	7,815	7,815	7,783
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0		
小計(B)		7,842	7,815	7,815	7,783		
合計(A+B)		39,433	44,817	41,842	38,433		
市民1人当たりのコスト(円)		442	511	477	445		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	捕獲頭数	有害鳥獣を捕獲し、個体数を調整します。 (イノシシ・シカ・サル)	頭	目標	2780	2343	2006	2708
				実績	2783	2897	/	/
指標化できない成果			達成	100.1%	123.6%	/	/	

方向	改善	<p>令和4年度の伊賀市猟友会会員数は令和3年度より20名の減少となりました。鳥獣害の抑止対策として有害駆除・捕獲は重要であり、当該事業の継続のためにも狩猟免許取得者の確保・増員は喫緊の課題です。また会員の中には有害鳥獣捕獲実績や捕獲等事業への参加実績が無い人も一定数おり、当該会員の事業への参画及び捕獲技術の向上へ向けた取組も必要です。</p>
	改善案	<p>狩猟免許の有効期間は3年間なので、過去3年間に有害鳥獣捕獲実績が無い会員を対象にした技術向上のための研修会を開催すべく、伊賀市猟友会理事会と協議を行います。また、安全対策経費について、現在1名につき6,000円支給しているものを、今後は捕獲実績のある会員を対象とすべく協議を開始します。</p>

整理番号 315 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)13環境保全型農業直接支援対策事業	決算書頁 253
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-13-01
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	環境保全型農業直接支援対策事業	産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者		
	目的	地球温暖化防止や生物多様性保全等に貢献し、農業が有する自然循環機能を維持・増進する		
	根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内容	<p>環境保全に高い効果がある営農活動に取り組む農業者(団体)に対し、交付金を交付することで当該の活動を支援しました。</p> <p>【交付単価】 ①有機農業の取組 … 10aあたり12,000円 ②県特認の取組 …… 10aあたり8,000円</p> <p>【交付実績】 有機農業 …………… 9件752a カバークロープの取組 …………… 1件47a 県特認(梨の減農薬栽培)の取組 … 19件1,100a</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金 需用費	1,810,600円 92,000円	環境保全型農業直接支払交付金 消耗品費	1,810,600円 92,000円
	計	1,902,600円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 環境保全型農業直接支援対策交付金 (本体分)1,357,950円 (推進費) 92,000円
		国県支出金	1,680	1,913	1,450	2,775	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	200	0	200	
		一般財源	530	605	453	561	
	合計(A)	2,210	2,718	1,903	3,536		
	事業費 人件費	正規職員	業務量 0.20 人 人件費 1,553	0.40 人 3,095	0.40 人 3,095	0.40 人 3,082	
		再任用職員	業務量 0.00 人 人件費 0	0.00 人 0	0.00 人 0	0.00 人 0	
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人 人件費 0	0.00 人 0	0.00 人 0	0.00 人 0	
		小計(B)	1,553	3,095	3,095	3,082	
合計(A+B)		3,763	5,813	4,998	6,618		
市民1人当たりのコスト(円)		43	67	57	77		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	取組面積	環境保全型農業に取り組む 実施面積	ha	目標	24	26	28	30
				実績	21.5	19.0		
指標化できない成果			達成	89.5%	73.0%			

方向	改善課題	みどりの食料システム戦略において有機農業は2050年に耕地面積の25%(取組面積100万ha)達成を目指しています。当市でも環境保全型農業直接支払制度を活用し、取組面積の拡大を目指していますが、本制度は取組農家に対する要件が厳しく、制度を利用しない有機農家も多く存在し、交付金対象面積を増加させることは容易でないことが課題です。
	改善案	交付金制度について、引き続き取り組みやすい制度に改正するよう国に要望していきます。取組農家に対して面積拡大の支援、また新規取組検討をしている農家に対し、相談や事業説明を通じて支援を行います。従来より早期に制度の案内周知を行い、当該事業に取り組む農家の拡大を図ります。県特認として取り組む梨の減農薬については、取組み団体の生産意欲も高く、栽培面積も増加傾向にあることから、事業対象面積の拡大を目指していきます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-14-01	
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	循環型農業推進施設管理経費		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	資源循環型農業推進施設		
	目的	持続可能な資源循環型農業、特産品づくり及び地域景観の向上を促進し、地域活性化を図る		
	根拠法令等	伊賀市資源循環型農業推進施設の設置及び管理に関する条例		
	内容	<p>菜の花プロジェクトを推進するうえで核となる施設『菜の舎』(なのくら)の管理運営について、指定管理者制度により伊賀産菜種油の生産や商品開発に取り組んでいます。</p> <p>【指定管理先】一般社団法人 大山田農林業公社 【主な自主事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搾油設備を使用して菜種の搾油を行い、販売計画に基づいて菜種油を販売。 ・搾油施設利用を促進するためのカメリナオイルの受託製造。 ・地元小学校の工場見学や、中学校の体験学習受入 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	2,000,000円	循環型農業推進施設指定管理料 2,000,000円 委託先:(一社)大山田農林業公社	
	需用費 修繕料	672,100円	精油機搭載ポンプ・配管ユニット更新 497,200円 施設構内柱支線張替工事 174,900円	
	計	2,672,100円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	410	146	124	0		
		一般財源	4,285	2,998	2,548	2,840		
	合計(A)	4,695	3,144	2,672	2,840			
	事業費	正規職員	業務量	0.34 人	0.34 人	0.34 人		0.34 人
			人件費	2,640	2,631	2,631		2,620
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)	2,640	2,631	2,631	2,620				
合計(A+B)	7,335	5,775	5,303	5,460				
市民1人当たりのコスト(円)	83	66	61	64				

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	菜種の搾油量	搾油された菜種油の数量(製品化したもの)	kg	目標	7000	7000	7000	7000
				実績	5307	5,397	/	/
指標化できない成果			達成	75.8%	77.1%	/	/	

方向	改善	<p>令和4年度は豊作であったため、従前の課題であった施設の稼働率は改善がみられた。しかし、菜種油の安定的な生産を図るための取り組みを継続していくことが課題となっています。</p>
	改善案	<p>菜種油の安定的な生産を図るため、搾油技術の向上や圃場の確保、新規流通先の開拓等を「菜の舎」と連携を図りつつ推進していきます。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	R4 年度～ R4 年度	01-06-01-03-20-01	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	農地利用効率化等支援交付金事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	「人・農地プラン」で位置付けられ、農地中間管理機構を活用している中心経営体		
	目的	農業者の高齢化、後継者不足、荒廃農地の増加等「人と農地の問題」の解決を図る		
	根拠法令等	農地利用効率化等支援交付金実施要綱		
	内容	<p>適切な「人・農地プラン」が作成されており、かつ農地中間管理機構を活用している地区において、国の基準を満たしている中心経営体が、売上高の拡大や経営コストの縮減など意欲的に取り組む目標を定め、目標達成の手段として融資を活用して農業用機械、施設等を導入する際、融資残について補助金を交付します。</p> <p>令和4年度は2経営体が国の承認を得て、補助金を交付しました。</p> <p>○交付対象地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猪田大東(コンバイン) ・山畑(田植機) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	3,784,000円	農地利用効率化等支援交付金	
	計	3,784,000円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	3,784	0	農地利用効率化等支援交付金 3,784,000円
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
		合計(A)	0	0	3,784	0	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.05 人	0.00 人	
		人件費	0	0	387	0	
	再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0		
	会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0		
	小計(B)	0	0	387	0		
	合計(A+B)	0	0	4,171	0		
市民1人当たりのコスト(円)			0	0	48	0	

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	—	—	—	—	目標	—	—	—	—
					実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	ポイント制による国の採択(全国一律)となるため、審査が厳しく採択の確実性がない	達成	—	—	—	—	—	

方向	改善	課題	【強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業】の後継事業にあたり、事業の概要は同様となります。地域農業の中心となる経営体の育成を目的とした国の事業であります。全国からの申請に順位を付け、上位から順に採択することから、広大な農地で大規模営農を行う申請者と比較して、採択を受けることが非常に困難となっており、市内申請者からも不満の声があがっています。
	改善案	事業内容が同様の後継事業であることから、引続き県・JAと連携を取りながら、事業採択にかかるポイントを少しでも取れるように情報共有の強化を図ります。	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-04-01-01	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	集落営農支援事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	営農活動のための農業用機械器具または、建物の新設及び改修を必要としている集落営農組織		
	目的	集落営農組織を支援し、地域農業の安定的発展と集落環境及び機能を維持する		
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内容	集落営農組織を対象に農業用機械器具の購入費の助成または、営農組織等に必要な建物の新築・改修費の助成を行いました。 【補助金取組組織】16件 【補助金交付総額】9,993,000円		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	9,993,000円	集落営農支援事業補助金(16件) (※うち省力化技術機械導入1件)	
	計	9,993,000円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	ふるさと応援基金繰入金 9,993,000円
		地方債	0	0	0	0	
		その他	10,600	11,000	9,993	11,000	
		一般財源	0	0	0	0	
		合計(A)	10,600	11,000	9,993	11,000	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	1,165	1,161	1,161	1,156	
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	小計(B)	1,165	1,161	1,161	1,156		
	合計(A+B)	11,765	12,161	11,154	12,156		
	市民1人当たりのコスト(円)	132	139	128	141		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	交付件数	事業実施組織数	件	目標	10	12	12	12
				実績	11	16	/	/
指標化できない成果			達成	110%	133%	/	/	

方向	改善課題	<p>農業者の高齢化による後継者不足、離農等によって集落営農組織に対するニーズは高まっています。また、農作業量も増加しており、作業員や農業機器等への負担も増加しています。</p> <p>近年の省力化技術の向上に伴い、機械類の高額化が進んでいます。集落営農組織の存続のために、作業負担軽減、費用負担軽減は喫緊の課題となっています。</p>
	改善案	<p>コンバインやトラクターなどの従来から主な申請対象となっていた機械に関しては、機能が充実した機種を導入を支援するとともに、ラジコン草刈機や農業用ドローンなどスマート農業技術や作業省力化技術機械の導入に対する支援については補助率を上げていることもあり、今後もさらに強化していきます。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-04-01-02	
	基本事業	③ 担い手の確保・育成	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	農林業公社及び生産組合支援事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	一般社団法人大山田農林業公社及び会員		
	目的	地域の農家の営農継続を支援し、農林業公社の運営体制の強化充実を図る		
	根拠法令等	一般社団法人大山田農林業公社会費規程 産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内容	農用地等の保全事業等を行うとともに農業経営の合理化を図るため、農地保有合理化の促進、生産性の高い近代的農業の確立を目的に大山田農林業公社に対し運営助成を実施しました。 大山田農林業公社が主体となり遊休農地の解消、担い手への農地集積、農作業の受委託斡旋などに取り組みました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	4,000,000円 500,000円	大山田農林業公社負担金 4,000,000円 大山田農林業公社運営助成金 500,000円	
	計	4,500,000円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接事業費	国庫支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他	0		0		0		0	
		一般財源	4,500		4,500		4,500		4,500	
		合計(A)	4,500		4,500		4,500		4,500	
事業費	人件費	正規職員	0.16	人	0.16	人	0.16	人	0.16	人
		業務量	1,243		1,238		1,238		1,233	
		再任用職員	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人
		業務量	0		0		0		0	
		会計年度任用職員	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人
		業務量	0		0		0		0	
	小計(B)	1,243		1,238		1,238		1,233		
	合計(A+B)	5,743		5,738		5,738		5,733		
	市民1人当たりのコスト(円)	65		66		66		67		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	農地所有者代理事業で取り扱う農地の面積	大山田農林業公社で取り扱う農地の面積	ha	目標	200	202	204	206
				実績	198	198	/	/
指標化できない成果			達成	99%	99%	/	/	

方向	縮小	<p>課題</p> <p>公益事業でおこなう農地所有者代理事業については、担い手への農地集積、農作業の受委託斡旋などで実績を残しています。しかし、収益事業や法人会計における経営状況の悪化が深刻化しており、抜本的な改善が喫緊の課題となっています。</p>
	改善案	<p>4年度に引き続き、JAIがふるさと連携し、経営実態の把握や不採算事業の廃止、収益事業への集中など、経営改善に向けた実効性ある取り組みを進めていきます。</p> <p>抜本的な経営状況の改善が見込めない場合は、規模の縮小も検討していきます。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-05-02-01	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	土地改良事業管理経費		産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対 象	三重県土地改良事業団体連合会及び土地改良区		
	目 的	対象となる団体の活動が円滑となる。		
	根拠法令等	土地改良法第91条		
	内 容	三重県土地改良事業団体連合会の賦課金と市内の土地改良区へ水路等施設管理業務委託料を支出しました。 ・水路等施設管理業務委託 N=2件(伊賀町土地改良区・阿山町土地改良区)		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	水路等施設管理業務委託料	949,000円	伊賀町土地改良区・阿山町土地改良区	
	負担金			
	一般賦課金	110,000円	平等割	10,000円
			耕地面積割7,280ha	100,000円
	特別賦課金	896,000円	三重県土地改良事業団体連合会賦課金(特別)	
		80,000円	令和4年度農道台帳特別賦課金	
	計	2,035,000円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他	0		0		0		0	
		一般財源	2,143		3,130		2,035		3,483	
		合計(A)	2,143		3,130		2,035		3,483	
事業費	人件費	正規職員	0.15	人	0.15	人	0.15	人	0.15	人
		業務量	0.15		0.15		0.15		0.15	
		人件費	1,165		1,161		1,161		1,156	
		再任用職員	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人
		業務量	0.00		0.00		0.00		0.00	
		人件費	0		0		0		0	
会計年度任用職員	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人		
業務量	0.00		0.00		0.00		0.00			
人件費	0		0		0		0			
小計(B)	1,165		1,161		1,161		1,156			
合計(A+B)	3,308		4,291		3,196		4,639			
市民1人当たりのコスト(円)		38		49		37		54		

指 標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	施設・用水の維持管理・実績	事業計画に対する達成団体数	団体	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	/	/
指標化できない成果			達成	100%	100%	/	/	

方 向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-05-02-02	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業		産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	過去に造成された土地改良施設													
	目的	土地改良施設の老朽化部分を更新して施設機能の回復を図る。													
	根拠法令等	地方財政法第10条の2													
	内容	<p>農業用施設の老朽化対策として施設の整備補修を行う事業で、補修を要する施設の必要経費30%を5年間均等に三重県土地改良事業団体連合会に拠出し工事を実施する事業です。 【補助率】国:30%、県:30%、市:20%、地元:20%</p> <p>農業用施設の老朽化にともなう更新及び改修を行い機能回復を行いました。 ・上野揚水機場改修工事では、3箇所の揚水機場(上荒木揚水機場・下荒木揚水機場・西明寺揚水機場)のポンプオーバーホール計10台を実施。 ・荒堀頭首工改修工事では、転倒井堰の水密ゴムの交換と扉体補強(当て板補修)L=58.0m実施。 ・西之澤新池改修工事では、ため池堤体改修(ブロック積A=26m²)L=7.3mを実施。</p>													
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>46,219,800円</td> <td>上野揚水機場改修工事 12,169,300円 荒堀頭首工改修工事 28,490,000円 西之澤新池改修工事 5,560,500円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>7,735,000円</td> <td>土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>53,954,800円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	工事請負費	46,219,800円	上野揚水機場改修工事 12,169,300円 荒堀頭首工改修工事 28,490,000円 西之澤新池改修工事 5,560,500円	負担金、補助及び交付金	7,735,000円	土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金	計	53,954,800円			
経費	金額	摘要													
工事請負費	46,219,800円	上野揚水機場改修工事 12,169,300円 荒堀頭首工改修工事 28,490,000円 西之澤新池改修工事 5,560,500円													
負担金、補助及び交付金	7,735,000円	土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金													
計	53,954,800円														

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	土地改良施設維持管理適正化事業交付金 農業関係土木事業分担金	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	64,953		45,514		45,362		38,236		
		一般財源	10,013		7,496		8,593		7,238		
		合計(A)	74,966		53,010		53,955		45,474		
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.70 人	0.45 人	0.45 人	0.40 人					
		人件費	5,435	3,482	3,482	3,082					
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
		人件費	0	0	0	0					
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
		人件費	0	0	0	0					
	小計(B)	5,435	3,482	3,482	3,082						
	合計(A+B)	80,401	56,492	57,437	48,556						
	市民1人当たりのコスト(円)	901	644	655	562						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	更新工事の実施地区数	当該年度に実施する地区数	地区	目標	6	3	3	2
				実績	6	3		
指標化できない成果			達成	100%	100%			

方向	改善課題	土地改良施設の多くは戦後から高度経済成長期に整備されたものであり、老朽化が進行している。
	改善案	本事業において、土地改良施設の老朽化部分を計画的に更新して施設機能の回復を図る。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-05-03-01	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	市単土地改良事業		産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対 象	国・県等の補助対象とならない、受益者2名以上の小規模な土地改良事業を行おうとする受益者		
	目 的	農業用施設のかきめ細やかな整備を行い農業生産性の向上と維持管理費の軽減を図る。		
	根拠法令等	伊賀市農林関係災害復旧事業及び土地改良事業等に対する小規模(工事費・材料費)交付要綱		
	内 容	<p>県営体育成基盤整備事業により平成20年に完成した広域農道(山生田農道 槇山～内保)に、経年劣化による舗装面全体のひび割れが生じていたための舗装工事および市部地内農道舗装補修工事を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山生田農道舗装修繕工事 L=57.0m、W=3.2m ・市部地内農道 舗装補修工事 L=3.7m、W=2.8m <p>小規模土地改良事業等補助金により農業用施設の改修を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事費補助: 22件 ・材料費補助: 5件 		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	99,000円	修繕料 木根大池修繕工事(会所柵蓋)	99,000円
	使用料及び賃借料	315,815円	システム等使用料 三重県自治体共同積算システム利用料他2件	315,815円
	工事請負費	1,756,700円	山生田農道舗装修繕工事 市部地内農道 舗装補修工事	1,683,000円 73,700円
	負担金、補助及び交付金	6,688,534円	小規模土地改良事業等補助金 工事費 22件 材料費 5件	5,325,425円 1,363,109円
	計	8,860,049円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	13,700	0	0	0		
		その他	6,686	0	0	0		
		一般財源	7,643	7,139	8,860	5,364		
	合計(A)	28,029	7,139	8,860	5,364			
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.47 人	0.40 人	0.40 人		0.40 人
			人件費	3,650	3,095	3,095		3,082
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	3,650	3,095	3,095	3,082			
	合計(A+B)	31,679	10,234	11,955	8,446			
	市民1人当たりのコスト(円)	355	117	137	98			

指 標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	最終予算の執行率	最終予算の執行割合	%	目標	100	100	100
				実績	82.12	100	/
指標化できない成果			達成	82.12%	100%	/	

方 向	改善	課題	大規模土地改良事業は国・県等の補助対象となるが、小規模土地改良事業については他に支援施策がなく、優良な農地の維持を行うためには継続した支援が必要。
	改善案		地域の要望に沿える様に、財源の確保や多面的機能支払交付金による取り組みにより対応が出来るよう、指導や助言を行う。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-事業	
	施策	3-2 農業	H26 年度～ R6 年度	01-06-01-05-06-01	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	多面的機能支払交付金事業		産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	多面的機能支払交付金を活用する活動組織		
	目的	農地及び農村資源(農道・水路等)保全のための共同活動を支援する。		
	根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律		
	内容	<p>農業農村地域の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理の取り組みを行いました。</p> <p>多面的機能支払取組地区 104 地区 取組(認定)面積 3,987 ha</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	1,014,058円	消耗品費	
	役務費	157,938円	通信運搬費 133,998円	
	使用料及び賃借料	897,600円	賠償責任保険料 23,940円	
	負担金、補助及び交付金	194,425,850円	電算機借上料	
			多面的機能支払交付金(104地区)	
			資源向上支払交付金(長寿命化 12地区) 14,167,000円	
			農地維持支払交付金 111,450,300円	
			資源向上支払交付金(共同活動) 68,808,550円	
	計	196,495,446円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	147,722	156,417	147,889	154,285	多面的機能支払交付金	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	48,361	51,396	48,606	50,707		
		合計(A)	196,083	207,813	196,495	204,992		
	事業費	正規職員	業務量	1.20 人	1.20 人	1.30 人		1.30 人
			人件費	9,317	9,285	10,059		10,017
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	1.50 人	1.50 人	1.50 人		1.50 人
人件費	2,394		2,426	2,426	2,519			
	小計(B)	11,711	11,711	12,485	12,536			
	合計(A+B)	207,794	219,524	208,980	217,528			
	市民1人当たりのコスト(円)	2,328	2,501	2,381	2,518			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	取組地区数	多面的機能支払交付金事業に取り組んでいる組織数	地区	目標	106	104	103	103
				実績	106	104		
指標化できない成果			達成	100%	100%			

方向	改善課題	高齢化や人口減少に伴い地域での共同活動がこれまでと同じ規模での実施が難しくなっていることから外注費(建設業者等への委託)が増加してきている。昨今の物価上昇に伴い補修資材費及び人件費等の高騰したため修繕計画に遅れが生じてきている。
	改善案	伊賀市における農地維持支払交付金及び資源向上交付金の用途に関するガイドラインの一部見直しを行い、外注費について交付額全体(認定期間)の50%未満を撤廃し活動範囲を広げ組織の活動意欲を継続させる。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-05-07-01
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当部署	部・課名等
	事務事業名	県営事業負担金	産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先 課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	県営土地改良事業を行う土地改良施設の受益者		
	目的	国・県の補助を受けて行う大規模な土地改良事業の受益者負担の内、市が負うべき事業費を負担する。		
	根拠法令等	土地改良法第85条、地方財政法第10条の2		
	内容	<p>県営事業で行っている下記の6事業の市負担金を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県営ため池等総合整備事業によるため池改修 (猿野大池・千歳大池・馬場谷池・依那具新池地区) ・県営農村振興総合整備事業による農業用排水施設・農地保全・農道整備 (伊賀2期地区) ・広域農道整備保全対策事業(保全対策型)による広域農道整備(舗装工) (伊賀2期地区) ・基幹農業水利施設ストックマネジメント事業による測量業務・農業施設の改修 (滝谷用水・滝谷支線用水・青蓮寺用水2期・青蓮寺用水3期・服部川沿岸3期地区) ・県営地域防災機能増進事業による橋脚耐震補強工事(2基) (高倉大橋地区) ・高度水利機能確保基盤整備事業による区画整理 (諏訪地区) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	101,011,933円	県営ため池等整備事業負担金 13,142,000円 猿野大池・千歳大池・馬場谷池・依那具新池地区 県営農村振興総合整備事業負担金 14,419,220円 伊賀2期地区:農業用排水施設・農地保全・農道 広域農道整備保全対策事業負担金 15,000,000円 命と暮らしを守る農道保全対策事業(広域農道整備) 基幹農業水利施設ストックマネジメント事業負担金 29,030,713円 滝谷用水、支線・青蓮寺用水2期、3期・服部川沿岸3期地区 県営地域防災機能増進事業負担金 24,180,000円 高倉大橋地区 高度水利機能確保基盤整備事業負担金(諏訪地区) 5,240,000円	
	計	101,011,933円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	県営土地改良事業費分担金 地方債(農業基盤整備事業)
	地方債	53,300	54,800	74,500	65,000					
	その他	22,429	9,046	19,168	7,250					
	一般財源	15,662	3,999	7,344	7,308					
	合計(A)	91,391	67,845	101,012	79,558					
事業費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人				
		人件費	2,718	2,708	2,708	2,697				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
人件費		0	0	0	0					
小計(B)	2,718	2,708	2,708	2,697						
合計(A+B)	94,109	70,553	103,720	82,255						
市民1人当たりのコスト(円)		1,055	804	1,182	952					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
	指標化できない成果	県営事業にかかる負担金の支出のみであるため。	達成	-	-	-	-	

方向	継続	課題
		改善案

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H30 年度～ R6 年度	01-06-01-05-09-01	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	農道台帳整備事業		産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	広域農道、農免道路等の幹線農道の利用者												
	目的	農道の管理を適正に行う。												
	根拠法令等	伊賀市法定外公共物管理条例												
	内容	<p>広域農道岡田・下川原工区取付農道の一部(延長0.53km)について、現地測量のうえ、農道台帳データを作成し、農道台帳システムに搭載しました。</p> <p>【委託業務内容】 農道台帳修正(地形測量・現地測定等) 農道台帳データ作成 打合せ・システム設置</p>												
事業に要した主な経費など		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>1,221,000円</td> <td>農道台帳作成業務委託 (広域農道岡田・下川原工区取付農道の一部) 1,221,000円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>105,600円</td> <td>農道台帳システム クラウド使用料 105,600円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,326,600円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	1,221,000円	農道台帳作成業務委託 (広域農道岡田・下川原工区取付農道の一部) 1,221,000円	使用料	105,600円	農道台帳システム クラウド使用料 105,600円	計	1,326,600円	
経費	金額	摘要												
委託料	1,221,000円	農道台帳作成業務委託 (広域農道岡田・下川原工区取付農道の一部) 1,221,000円												
使用料	105,600円	農道台帳システム クラウド使用料 105,600円												
計	1,326,600円													

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,316	1,393	1,327	876
		合計(A)	1,316	1,393	1,327	876
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.05 人	0.05 人	0.05 人	0.05 人
		人件費	389	387	387	386
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人件費	0	0	0	0	
小計(B)	389	387	387	386		
合計(A+B)	1,705	1,780	1,714	1,262		
市民1人当たりのコスト(円)		20	21	20	15	

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
台帳整備農道延長	台帳整備(更新)計画に対する実際に台帳を整備(更新)した農道の延長	km	目標	1.0	0.53	0.28	0.40
			実績	1.15	0.53		
指標化できない成果			達成	115.0%	100%		

方向	改善課題	市が直轄管理する幹線農道については農道台帳を作成済であるが、作成後30年近く経過しているものもあり、現場の状況が変化している部分が見受けられる。また、直轄農道と密接に関係している農道については、適切な管理のために台帳を作成していく必要がある。
	改善案	広域農道への取付け道路等、直轄農道と密接に関係している農道について、優先的に農道台帳を作成していく。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	2-1 危機管理	H25 年度～	R6 年度	01-06-01-05-10-01
	基本事業	④ ため池の適正管理	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業	担当 部署	産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	農地及び農業用施設の受益者			
	目的	農地及び農業用施設のきめ細やかな整備を行う。			
	根拠法令等	地方財政法第10条の2			
	内容	<p>ため池廃止要望のあった、防災重点農業用ため池3池について廃池設計業務を行い、4池の廃池工事が完了しました。 廃池設計(3池):岩ヶ谷池、池ヶ谷池、きょうこ池 廃池工事(4池):上池・下池、西ヶ峰池、きょうこ池</p> <p>ため池等整備事業において、木根大池の水門改修工事及び堤体グラウト工事を実施した。 木根大池:砲金製斜樋ゲートφ200(1連2式L=12.0m、L=7.8m)、堤体グラウトL=52.5m</p> <p>農業用施設の長寿命化を図るため水路改修及び水門ゲート修繕を実施した。 中之井水路改修工事ベンチフリューム450 L=68.9m 木根地区農業用施設改修工事 四方水密スライドゲート扉体1,650×1,070 N=1式</p>			
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要		
	需用費	783,361円	消耗品・燃料費・印刷製本費 783,361円		
	使用料及び賃借料	5,310円	有料道路通行料 5,310円		
	委託料	5,231,600円	ため池等整備事業測量設計業務委託料 4,664,000円 (繰)岩ヶ谷池廃止設計業務委託他2件		
	工事請負費	59,726,700円	ため池調査業務委託料 567,600円 岩ヶ谷池廃池工事に伴う生物調査業務委託他1件 農業水路等長寿命化・防災減災事業工事費 (繰)きょうこ池廃池工事 他廃池工事2件 26,204,000円 木根大池グラウト工事 他長寿命化防災減災工事3件 33,522,700円		
	原材料費	104,720円	資材費 104,720円		
	計	65,851,691円	クラッシュャーラン他		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 団体営ため池等整備事業費補助金 団体営かんがい排水事業費補助金 地方債(一般補助施設整備等事業債) 農業関係土木事業分担金 翌年度繰越額 5,833,000
		国県支出金	64,603	47,847	53,673	29,020	
		地方債	7,100	4,100	4,400	2,100	
		その他	8,386	5,917	6,307	1,993	
		一般財源	973	1,675	1,472	1,396	
	合計(A)	81,062	59,539	65,852	34,509		
	事業費 人件費	正規職員	業務量 0.70 人	0.60 人	0.60 人	0.50 人	
			人件費 5,435	4,643	4,643	3,853	
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費 0	0	0	0	
会計年度任用職員		業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費 0	0	0	0			
小計(B)	5,435	4,643	4,643	3,853			
合計(A+B)	86,497	64,182	70,495	38,362			
市民1人当たりのコスト(円)	970	732	803	444			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	ため池廃池数	廃池完了ため池数	池	目標	3	4	2
				実績	3	4	
指標化できない成果			達成	100%	100%		

方向	改善課題	農業用ため池として利用されなくなった防災重点農業用ため池については、防災の観点から市民の安全安心の生活を確保するため、ため池の廃止工事を計画的に実施する必要があるが、所有者(相続人)の同意をはじめ、水利権者や下流域等様々な協議や調整に時間を要する。
	改善案	農業用ため池として利用されなくなった防災重点農業用ため池については、地域と協議を行い廃止工事を実施できるように合意形成を図る。

整理番号
327 -

決算書頁
257

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)11国営土地改良事業

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	R4 年度～	R6 年度	01-06-01-05-11-01
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	国営施設応急対策事業	担当部署	産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	青蓮寺用水地区										
	目的	国営施設応急対策事業青蓮寺土地改良事業に係る事業費負担金の償還。										
	根拠法令等	土地改良法第90条第9項										
	内容	<p>平成26年度から実施し、令和3年度に完了した国営施設応急対策事業青蓮寺土地改良事業に係る事業費負担金の償還事業が令和4年度より開始されました。(元金:140,952,262円 利子:2,829,566円 償還額計:143,781,830円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・償還方法:元利均等年賦支払 ・支払方法:県を經由し市町の負担金を納付 ・据置期間:令和6年3月31日 ・償還期限:令和21年3月31日 ・償還利率:年0.2% ・事業負担区分:国200/300 県70/300 市24.51/300※ <p style="text-align: center;">受益者(青蓮寺土地改良区)5.49/300</p> <p style="text-align: center;">※伊賀市19.36/300 名張市5.15/300</p>										
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">281,905円</td> <td>国営かんがい排水事業(国営施設応急対策)負担金 281,905円 【青蓮寺用水地区(農基)】</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">281,905円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	281,905円	国営かんがい排水事業(国営施設応急対策)負担金 281,905円 【青蓮寺用水地区(農基)】	計	281,905円			
経費	金額	摘要										
負担金、補助及び交付金	281,905円	国営かんがい排水事業(国営施設応急対策)負担金 281,905円 【青蓮寺用水地区(農基)】										
計	281,905円											

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	282	282		
		合計(A)	0	0	282	282		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	0.01 人		0.01 人
			人件費	0	0	78		78
		再任用職員	業務量	人	人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	0.00 人		0.00 人
人件費	0	0	0	0				
		小計(B)	0	0	78	78		
		合計(A+B)	0	0	360	360		
		市民1人当たりのコスト(円)	0	0	5	5		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	事業費負担金の償還のため事業計画が立てられない。	達成	-	-	/	/	

方向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-事業-中-事業	
	施策	2-1 危機管理	H31 年度～ R6 年度	01-06-01-05-12-01	
	基本事業	④ ため池の適正管理	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	団体営ため池等整備事業		産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	団体営ため池等整備事業を行う受益者		
	目的	農業用ため池のきめ細やかな整備を行う。		
	根拠法令等	土地改良法第85条、地方財政法第10条の2		
	内容	<p>防災重点農業用ため池の耐震・豪雨・劣化状況を把握するためボーリング調査を行い、解析診断業務を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災重点農業用ため池の地質調査業務 N=79池 ・防災重点農業用ため池の耐震診断解 N=14池 ・事業計画策定業務に伴う地質調査測量業務委託 N=7池(大野木大池、鈴鹿池1、野縄池外3池、竹谷池) ・事業計画策定業務委託 N=6池(大野木大池、鈴鹿池1、野縄池外3池) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	地質調査委託料	228,379,100円	(繰)伊賀市3期地区防災重点農業用ため池地質調査測量業務委託(その1) 48,436,300円	
	実施計画策定業務委託料	107,350,100円	他4件(その2～その5) 179,942,800円 (現年)野縄池外3池地区他2事業計画書策定業務委託 24,970,000円 (現年)他2件 11,593,900円 (繰越)竹谷池地質調査業務委託 30,425,000円 (繰越)他4件 40,361,200円	
	ため池耐震診断業務委託料	81,168,600円	(現年)伊賀市3期地区防災重点農業用ため池地質調査測量業務委託(その6) 36,087,700円 (現年)他1件 4,672,400円 (繰越)畦ノ谷池他13池耐震診断解析業務委託 37,787,600円 (繰越)他1件 2,620,900円	
	計	416,897,800円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 団体営ため池等整備事業補助金 翌年度繰越額 408,676,000
		国県支出金	518,237	614,288	416,112	107,500	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	1,500	0	1,500	
		一般財源	4,928	5,684	786	5,687	
		合計(A)	523,165	621,472	416,898	114,687	
	事業費	人件費	正規職員	業務量 2.10 人	2.10 人	2.40 人	2.40 人
			人件費	16,305	16,248	18,569	18,492
			再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
			会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
小計(B)	16,305	16,248	18,569	18,492			
合計(A+B)	539,470	637,720	435,467	133,179			
市民1人当たりのコスト(円)		6,044	7,264	4,961	1,542		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	地質調査を行ったため池数	防災重点農業用ため池において耐震診断解析に必要な地質ボーリング調査を行った池数	池	目標 85	85	18	20
	指標化できない成果		達成	90	79		
				105.8%	92.9%		

方向	改善課題	防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画(三重県策定)に基づき地震・豪雨耐性評価のための地質調査を実施し進めているが、県営事業で行う防災工事に向けた事業計画策定業務において、補助事業の認可要件を整えるための地元調整や各種協議に期間を要する。
	改善案	地質調査、耐震・豪雨・劣化等の解析診断により改修順位を定め、計画的に整備を行う。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	3-2 農業	R3 年度~	R4 年度	01-06-01-05-18-01
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	施設計画策定事業	担当部署	産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	農地及び農業用施設の受益者		
	目的	農地及び農業用施設のきめ細やかな整備を行う。		
	根拠法令等	土地改良法第85条		
	内容	<p>更新時期を迎える施設について、従来の一括更新を行うのではなく、その劣化の進行が致命的になる前に補修・補強などにより施設の長寿命化を図ることを目的とし、計画的な対策工事を行うため、2地区の実施計画の策定業務を行いました。</p> <p>青蓮寺用水4期地区事業計画書策定業務委託 事業計画策定業務1式、機能診断1式 揚水機場N=17箇所、分水工 N=3箇所、水管橋他 N=5箇所</p> <p>泥淵地区事業計画書策定業務委託 事業計画策定業務1式 導水路 L=450m、幹線用水路 L=4,500m、ゲートN=5箇所、頭首工N=1箇所</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	28,040,100円	実施計画策定業務委託料 (緑)青蓮寺用水4期地区事業計画書策定業務委託 16,820,100円 (緑)泥淵地区事業計画書策定業務委託 11,220,000円	
	計	28,040,100円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0		11,000		28,000		0		団体営かんがい排水事業費補助金
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	0		300		40		0		
	合計(A)	0		11,300		28,040		0		
事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.16 人	0.16 人					
		人件費	0	1,238	1,238		0			
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
		人件費	0	0	0		0			
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
		人件費	0	0	0		0			
小計(B)		0	1,238	1,238		0				
合計(A+B)		0	12,538	29,278		0				
市民1人当たりのコスト(円)			0	143		334		0		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業計画数	事業計画を行う地区数	地区	目標	2	2	0	0
				実績	0	2		
指標化できない成果			達成	0	100%			

方向	完了	課題
		改善案

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～	R6 年度	01-06-01-06-01-01
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	国土調査推進事業	担当部署	産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	地籍調査にかかる地権者及びその関係団体			
	目的	地籍の明確化を図り、土地利用の高度化に役立てる。			
	根拠法令等	国土調査法、国土調査法施行規則			
	内容	<p>高山Ⅰ地区(0.64km²)、高山Ⅱ地区(0.74km²)、並びに高山外Ⅰ地区(0.42km²) (ともに平成10年以前に着手)の地籍調査について、事業完成に向けて業務を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の測量業務受託業者と連携して既存成果の修正箇所を洗い出し ・経年による土地所有者の変更、分筆・合筆、地目変更等の調査 ・既存成果と新規作業箇所の摺り合わせ、及び三重県・法務局との協議 <p>中村Ⅰ-②地区(0.11km²)の地籍調査について、三重県検査を受検し合格しました。</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	委託料			認証申請に伴う成果等修正業務委託	
	地籍調査訂正業務委託料	7,203,600円		(繰越)高山Ⅰ地区 3,308,700円 他2件 3,632,000円 (現年)中村Ⅰ-②地区 262,900円	
	測量成果電子化業務委託料	2,547,435円		境界確定書スキニング業務委託 2,547,435円	
	使用料及び賃借料	561,000円		地籍成果管理システム借上料 561,000円	
	負担金、補助及び交付金	34,000円		三重県国土調査推進協議会会費 三重県協議会 3,000円 東海ブロック協議会・全国国土調査協会 22,000円 事業費割 9,000円	
	計	10,346,035円			

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	3,647	12,246	10,346	2,215				
		合計(A)	3,647	12,246	10,346	2,215				
	人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.57 人	0.57 人			
			人件費	3,882	3,869	4,411	4,392			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
	人件費	0	0	0	0					
	小計(B)	3,882	3,869	4,411	4,392					
	合計(A+B)	7,529	16,115	14,757	6,607					
	市民1人当たりのコスト(円)	85	184	169	77					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	地籍調査が完成した地区数	地籍調査の全工程が終了し、国に認証された地区数	地区	目標	3	3	2	2
				実績	3	3		
指標化できない成果			達成	100%	100%			

方向	改善	課題	土地の境界について、地権者間の協議が調わない等の理由により、事業が中断している地区が残っている。
	改善案	地権者の不立会や不同意を原因とするもので、今後解消の見込みのない箇所については、筆界未定を調査結果として地籍調査を完了させる。	

整理番号
331 -

決算書頁
257

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)06国土調査費(大事業)01国土調査事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～ R6 年度	01-06-01-06-01-02
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当部署	部・課名等
	事務事業名	国土調査事業	産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先 課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	地籍調査にかかる地権者及びその関係団体		
	目的	地籍の明確化を図り、土地利用の高度化に役立てる。		
	根拠法令等	国土調査法、国土調査法施行令		
	内容	<p>一筆地測量、地籍測量、地籍図、地籍簿の作成を実施しました。 ・中村 I-③地区(0.37km²)</p> <p>地籍図、地籍簿を作成しました。 ・中村 I-②地区(0.11km²)</p> <p>三角測量、調査図を作成しました。 ・下川原地区(0.38km²)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	5,669円	消耗品費	5,669円
	役務費	4,490円	通信運搬費	4,490円
	委託料 地籍調査委託料	5,764,000円	国土調査事業地籍調査(下川原地区)E1工程業務委託 他2件	2,750,000円 3,014,000円
	使用料及び賃借料	139,400円	駐車場借上料 システム等借上料 地籍成果管理システム	800円 138,600円
	計	5,913,559円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 社会資本整備円滑化地籍整備交付金
		国県支出金	6,834	13,684	5,280	8,299	
		地方債					
		その他					
		一般財源	2,363	4,635	634	2,766	
	合計(A)	9,197	18,319	5,914	11,065		
	事業費	正規職員	業務量	1.20 人	1.20 人	1.13 人	1.13 人
			人件費	9,317	9,285	8,743	8,707
		再任用職員	業務量				
			人件費	0	0	0	0
		会計年度任用職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人
人件費	798		809	809	840		
小計(B)	10,115	10,094	9,552	9,547			
合計(A+B)	19,312	28,413	15,466	20,612			
市民1人当たりのコスト(円)	217	324	177	239			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	地籍調査の実施換算面積	地籍調査を実施した換算面積	km ²	目標	0.19	0.19	0.10
				実績	0.21	0.19	
指標化できない成果			達成	100%	100%		

方向	充実	課題	地籍調査は、土地を巡る行政活動・経済活動のすべての基礎データを築くもので、いずれは全国全ての地域で完成されるべきものであるが、全国平均の進捗率52%に対して三重県は10%と非常に低く、伊賀市は22.75%となっている。
	改善案		地籍調査の実績を確実に積み上げていくとともに、三重県国土調査推進協議会、並びに東海ブロック国土調査推進連絡協議会を通じて、国に対して予算の増額措置を求めていく。特に測量の専門的な知識や経験が必要となることから、不足するマンパワーの強化や継続的な職員育成により、実施面積を拡大させていく。

整理番号
332 -

決算書頁
257

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)01畜産振興事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～	R6 年度	01-06-01-07-01-01
	基本事業	④ 地産地消	担当部署		評価責任者・連絡先
	事務事業名	畜産振興事務経費	産業振興部農林振興課		課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	畜産農家、銘柄牛「伊賀牛」		
	目的	口蹄疫病などの伝染病の予防及び畜産農家の経営安定化、銘柄牛の優良化を図る		
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内容	伊賀産肉牛生産振興協議会への負担金を支出し、協議会を通じて生産振興・ブランド方向上に取り組んでいます。また、畜産生産者等の生産活動に対し助成を行うことで、伊賀産肉牛の品質向上と共に出荷価格を安定させ、畜産経営の安定化を図り、銘柄伊賀牛の体質強化に取り組んでいます。 〔家畜保健衛生対策事業費補助金〕〔優良素牛導入助成金〕〔和牛肥育組合振興助成金〕を支出しました。 【優良素牛導入】495頭		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	1,134,000円 360,000円 7,500,000円 124,545円	伊賀産肉牛生産振興協議会負担金 家畜保健衛生対策事業費補助金 優良素牛導入助成金 和牛肥育組合振興助成金	1,134,000円 360,000円 7,500,000円 124,545円
	計	9,118,545円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	ふるさと応援基金繰入金9,118,545円
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	7,500	8,067	9,119	8,067	8,067	8,067	8,067	
		一般財源	1,220	1,477	0	910	910	910	910	
		合計(A)	8,720	9,544	9,119	8,977	8,977	8,977	8,977	
	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
			人件費	2,330	2,322	2,322	2,312	2,312	2,312	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
小計(B)	人件費	0	0	0	0	0	0			
	合計(A+B)	11,050	11,866	11,441	11,289	11,289	11,289	11,289		
	市民1人当たりのコスト(円)	124	136	131	131	131	131	131		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	優良素牛導入頭数	いがほくぶ和牛肥育部会の優良素牛の導入頭数	頭	目標	500	500	500	500
				実績	497	495		
指標化できない成果			達成	99.4%	99.0%			

方向	改善課題	市内の肉牛肥育を取り巻く状況は、素牛価格の高止まり、肥育農家の高齢化や後継者不足など、厳しい状況が続いています。伊賀牛は生産頭数は減少傾向にあり、安定的な伊賀牛の供給と増頭に向けた一層の取り組みが必要です。
	改善案	安定的な伊賀牛の供給と増頭を目指すため、今後も引き続き肥育農家をはじめ肉牛の生産に関わる各事業者に対する支援を継続していきます。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)02畜産振興事業費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～	R6 年度	01-06-01-07-02-01
	基本事業	④ 地産地消	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	畜産振興事業	担当部署	産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀牛の生産関係者		
	目的	伊賀牛の振興および飼養頭数の増頭を目指す		
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱、旧伊賀市食肉センターの施設閉鎖後の管理にかかる協定書		
	内容	<p>①令和2年度から「伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業」を開始し、3年度には49頭、4年度には48頭(合計97頭)の子牛が伊賀生まれとして育成農家へ引き渡されました。モデル事業の委託料において、黒毛和種子牛登記にかかる費用の一部を支援金として支出しました。</p> <p>②旧伊賀市食肉センターの維持管理として、施設周辺の草刈りおよび植木伐採作業を行っています。</p> <p>③伊賀肉冷蔵センターの運営主体であるJAいがふるさどに対し、運営助成金として1,000千円を交付しています。また、赤字が発生した場合は、これを伊賀市食肉組合と折半で補填するため、赤字額の半額を運営助成金に上乗せして交付しています。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	520,200円	①伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業業務委託料 (伊賀地域畜産クラスター協議会) 520,200円	
	使用料及び賃借料	98,901円	②旧食肉センター草刈委託料 98,901円	
	負担金、補助金及び交付金	5,660円	有料道路通行料 5,660円	
		1,136,013円	③伊賀牛振興補助金 (伊賀肉冷蔵センター運営助成) 1,136,013円	
	積立金	14,460円	伊賀市食肉センター施設整備等基金積立金 14,460円	
	計	1,775,234円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費		
事業費	直接事業費	国県支出金	470		500		260		500	①地方創生推進交付金(経費1/2) 260,100円 ※地域内一貫肥育モデル事業業務委託料 ②その他 52 食肉センター負担金(名張市) 24,725円 食肉センター施設整備等基金利子 14,460円	
		地方債	0		0		0		0		
		その他	53		53		39		52		
		一般財源	3,253		1,619		1,476		1,589		
		合計(A)	3,776		2,172		1,775		2,141		
	人件費	正規職員	業務量 0.27 人	2,097	業務量 0.27 人	2,089	業務量 0.27 人	2,089	業務量 0.27 人		2,081
		再任用職員	業務量 0.00 人	0	業務量 0.00 人	0	業務量 0.00 人	0	業務量 0.00 人		0
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0	業務量 0.00 人	0	業務量 0.00 人	0	業務量 0.00 人		0
		小計(B)		2,097		2,089		2,089			2,081
		合計(A+B)		5,873		4,261		3,864			4,222
市民1人当たりのコスト(円)			66		49		45		49		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	伊賀肉冷蔵センターの利用数	利用頭数	頭	目標	729	729	729	729
				実績	614.5	674		
指標化できない成果			達成	84.2%	92.4%			

方向	改善	<p>①伊賀牛の安定供給と増頭を目的とした『伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業』の一層の推進を図ります。第1号牛が市内農家で肥育されており、令和5年秋頃に出荷予定です。子牛農家、肥育農家、精肉業者が連携し安定的な素牛供給の道筋を立てていく必要があります。</p> <p>②旧食肉センター民間活用について検討を進める必要があります。</p> <p>③伊賀肉冷蔵センターの経営改善が目下の課題となっています。</p>
	改善案	<p>①『伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業』を推進するため、関係者との協議を進めていきます。</p> <p>②民間提案制度や売却プロポーザルなど市の諸制度を活用し、民間事業者による活用を検討していきます。</p> <p>③伊賀肉冷蔵センターの利用件数の増加及び経営状況の改善について、関係機関と協議を行います。</p>

基本情報		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2	農業	R4 年度～ R4 年度	01-06-01-08-01-01	
	基本事業	④	地産地消	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	畜産振興事業費			産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀市食肉センターを利用していた市内精肉事業者(伊賀食肉組合が取り纏め)												
	目的	伊賀肉の流通安定化と品質向上を図り、伊賀牛振興を行う												
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱												
	内容	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外食産業の消費低迷により、食肉市場におけると畜費用の増嵩が市内精肉店の経営を圧迫している情勢下で、伊賀産肉牛のと畜場までの往復にかかる費用の一部を補助することで、伊賀牛生産者および市内精肉店の経営の安定化に寄与する取り組み。(令和4年度731頭分)</p> <p>※本事業は、令和4年度のみ単年度事業</p>												
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">経費</th> <th style="width:15%;">金額</th> <th style="width:55%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">2,193,000円</td> <td>伊賀産肉牛流通安定対策補助金 2,193,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">2,193,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	2,193,000円	伊賀産肉牛流通安定対策補助金 2,193,000円	計	2,193,000円	
経費	金額	摘要												
負担金、補助及び交付金	2,193,000円	伊賀産肉牛流通安定対策補助金 2,193,000円												
計	2,193,000円													

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金2,193千円	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	2,178	2,250	2,193	0		
		一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	2,178	2,250	2,193	0			
	事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	777	0	0		0
		再任用職員	業務量	0.10 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	354	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	160	0	0	0			
小計(B)	1,291	0	0	0				
合計(A+B)	3,469	2,250	2,193	0				
市民1人当たりのコスト(円)		39	26	25	0			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	生体輸送件数	伊賀産肉牛のと畜場までの往復を1件とする	件	目標	—	750	—	—
				実績	—	731	/	/
指標化できない成果			達成	—	97.4%	/	/	

方向	完了	課題	施策の目的・目標は概ね達成できた					
	改善案	(令和4年度にて本事業は完了)						

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	R4 年度～ R4 年度	01-06-01-08-01-03
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	伊賀米等生産振興事業	産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市内の米生産販売農家													
	目的	コロナ禍における急激に販売価格の下落した米について、販売価格の一部を補填し、伊賀米生産者の営農意欲の維持を図る													
	根拠法令等	伊賀米次期作支援事業補助金交付要綱													
内容	<p>令和5年1月1日以後引き続き市内に住所を有する農業者の方で、令和4年産主食用米(うるち米に限る)を生産し、農産物検査を受けて、令和5年2月28日までに出荷又は販売した方を対象に補助を行いました。ただし、令和4年産主食用米について全国農業共済組合連合会が実施する収入保険制度に加入している、又は米の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策制度)の申請をしている方は、対象外としました。</p> <p>補助金の額は、出荷、又は販売した令和4年産主食用米の袋の数に、200円を掛けた値としました。なお、袋の数は、1袋当たりの米の量を30キログラムとして算出した数としており、袋の数に1未満の端数があるときは、切り捨てとしました。</p> <p>なお、当補助金に関する申請書等発送業務、申請書等の受付及び支払いに関する事務は、伊賀ふるさと農業協同組合に業務委託を行いました。</p> <p>交付実績 申請者延べ件数 2,137件 交付金額 45,438,400円 (227,192袋×200円)</p> <p>※令和4年度限りの事業です。</p>														
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>1,953,264円</td> <td>伊賀米次期作支援事業にかかる業務委託</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>45,438,400円</td> <td>伊賀米次期作支援事業補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>47,391,664円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	1,953,264円	伊賀米次期作支援事業にかかる業務委託	負担金、補助及び交付金	45,438,400円	伊賀米次期作支援事業補助金	計	47,391,664円			
経費	金額	摘要													
委託料	1,953,264円	伊賀米次期作支援事業にかかる業務委託													
負担金、補助及び交付金	45,438,400円	伊賀米次期作支援事業補助金													
計	47,391,664円														

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 47,391,664円
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	58,067	0	0	47,392	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計(A)	58,067	0	0	47,392	0	0	0	0	
事業費	正規職員	業務量	0.52 人	0.00 人	0.52 人	0.00 人	0.52 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	4,038	0	4,024	0	4,024	0	0	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
小計(B)	人件費	0	0	0	0	0	0	0		
合計(A+B)	金額	62,105	0	51,416	0	51,416	0	0		
市民1人当たりのコスト(円)	金額	696	0	586	0	586	0	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	申請の袋数	申請金額の根拠となる伊賀米の袋数	袋	目標	250000	249118	—	—
				実績	226361	227192		
指標化できない成果			達成	90.5%	91.1%			

方向	完了	課題	※令和4年度限りの事業です。
		改善案	※令和4年度限りの事業です。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	R4 年度～ R5 年度	01-06-01-08-01-04	
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	農業生産緊急支援事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	化学肥料の使用量の2割低減に向けた取組を行う農業者		
	目的	化学肥料の使用量の低減に向けて取り組む農業者に対し、肥料コスト上昇分の一部を支援する		
	根拠法令等	伊賀市肥料価格高騰対策緊急支援事業補助金交付要綱		
	内容	<p>肥料価格が急騰する中、海外原料に依存している化学肥料の使用量の低減に向けて取り組む農業者の団体等に対し、肥料コスト上昇分の一部を支援する事業になります。</p> <p>国の事業であります「肥料価格高騰対策事業」に係る支援金の交付の対象者に上乗せする形として補助をおこないました。</p> <p>令和4年度は秋肥を対象としており、8団体(延べ731件)に対し、1,802,891円を交付しました。</p> <p>※春肥は令和5年度の補正対応となる予定です。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	1,802,891円	伊賀市肥料価格高騰対策緊急支援事業補助金	
	計	1,802,891円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	1,803	0		
		一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	0	0	1,803	0			
	事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.10 人		0.10 人
			人件費	0	0	774		771
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)	0	0	774	771				
合計(A+B)	0	0	2,577	771				
市民1人当たりのコスト(円)	0	0	30	9				

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
	指標化できない成果	国・県が実施する事業に上乗せするものであり、数値が見込めないため		達成	-	-	-	-

方向	改善	<p>令和4年度対象の秋肥については期間が短い中でありましたが、対象者が8団体と見込んだ数字よりも少なく、スムーズに進めることができましたが、令和5年度補正で対象となる予定の春肥については、対象者が大幅に増加するものと見込まれるため、手続きをスムーズにおこなう必要があります。</p>
	改善案	定期的に関係機関と連携を図りながら進めます。

整理番号
337 -

決算書頁
259

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)01林業総務費(大事業)02事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H16 年度～	R6 年度	01-06-02-01-02-01
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	事務管理経費		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	林業振興事業を実施するために必要な事務費用等		
	目的	林業振興事業を円滑に実施する		
	根拠法令等			
	内容	<p>経常経費です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 ・委託料 ・使用料及び賃借料 林地台帳システムクラウド使用料 ・負担金、補助及び交付金 		
事業に要した 主な経費 など		経費	金額	摘要
		需用費	21,361円	消耗品費 16,900円 光熱水費(都市計画課) 4,461円
		委託料	299,200円	草刈業務委託料(都市計画課) 299,200円
		使用料及び賃借料	283,960円	有料道路通行料 6,760円 林地台帳システムクラウド使用料 277,200円
		負担金、補助及び交付金	510,000円	三重県緑化推進協会負担金 30,000円 三重県森林協会負担金 480,000円
	計	1,114,521円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	林地台帳地図 複写料9,890円
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	1,065	852	1,115	1,157	1,115	1,157		
		合計(A)	1,065	852	1,115	1,157	1,115	1,157		
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人		
		人件費	156	155	155	155	155	155		
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0	0	0		
	小計(B)	156	155	155	155	155	155			
	合計(A+B)	1,221	1,007	1,270	1,312	1,270	1,312			
	市民1人当たりのコスト(円)	14	12	15	16	15	16			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	事務費の為指標化不可	達成	-	-	/	/	

方向	改善	課題	林業従事者が施業地の森林所有者及び地番を正確に把握出来ていない場合があるため、林地台帳地図により参考となる地番を確認いただけるよう、林地台帳の周知及び利用を促進する必要があります。
		改善案	林地台帳について、ホームページに掲載する他、森林組合や木材市場窓口での周知資料の配置等を実施し、林地台帳の周知を行います。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H16 年度～ R6 年度	01-06-02-02-01
	基本事業	① 森林環境の整備	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	森林環境創造事業		評価責任者・連絡先
			産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	環境林整備計画に位置づけられた森林		
	目的	環境林整備計画に基づき間伐等適正管理を行うことで、環境林の持つ多面的機能を発揮できる		
	根拠法令等	森林環境創造事業実施要領		
	内容	<p>環境林整備計画に位置づけられた森林において、調査等を実施した上で、森林の多面的機能を高く発揮できる森林(下草などの下層植生が繁茂し、水源かん養機能や山地災害防止機能の高い森林)にするため、強度の間伐等を計画的に実施する環境林整備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐 16.99ha ・委託先 伊賀森林組合 <p>伊賀市森林管理協議会を計1回開催しました。伊賀市が実施する環境林整備の基本計画である、伊賀市特定水源地域等森林整備計画について審議を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 令和5年3月22日(木) 午前10時～ 		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	報酬	36,000円	森林管理協議会委員 報酬	
	旅費	4,366円	森林管理協議会委員 旅費	
	委託料	4,400,000円	森林環境創造事業委託料 委託先:伊賀森林組合	
	計	4,440,366円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	3,853		3,960		3,960		4,410	森林環境創造事業費補助金 1,760,000円 美しい森林づくり基盤整備交付金 2,200,000円
		地方債	0		0		0		0	
		その他	0		0		0		0	
		一般財源	506		690		480		666	
		合計(A)	4,359		4,650		4,440		5,076	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.11 人		業務量 0.11 人		業務量 0.11 人		業務量 0.11 人	
		人件費	855		852		852		848	
		再任用職員	業務量 0.00 人		業務量 0.00 人		業務量 0.00 人		業務量 0.00 人	
		人件費	0		0		0		0	
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人		業務量 0.00 人		業務量 0.00 人		業務量 0.00 人	
		人件費	0		0		0		0	
	小計(B)	855		852		852		848		
	合計(A+B)	5,214		5,502		5,292		5,924		
	市民1人当たりのコスト(円)	59		63		61		69		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	環境林整備面積	間伐により森林整備を行った面積	ha	目標	18	16.4	17	18
				実績	16.42	16.99		
指標化できない成果			達成	91.2%	103.6%			

方向	改善	課題	三重県の施策に基づく事業で、国・県の補助金を財源としています。三重県は、当事業を令和13年度で終了することを以前から決定しており、予算についても縮小傾向にあります。については、当事業を中心に伊賀市の環境林整備を推進していくのは難しい為、他事業・他財源を中心として環境林整備を進めて行く必要があります。
		改善案	森林環境創造事業費補助金を可能な限り活用しつつ、他の財源を用いて環境林整備を推進します。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H16 年度～ R6 年度	01-06-02-02-02-05
	基本事業	① 森林環境の整備	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	緊急間伐・搬出間伐推進事業		産業振興部農林振興課

事務事業の概要	対象	伊賀市内の森林													
	目的	森林所有者の間伐作業を推進し森林整備が適正に行われるようにする													
	根拠法令等	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法、緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金交付要綱													
	内容	<p>市内に存在する森林の適正管理を推進するため、緊急に間伐すべき森林において間伐経費と搬出経費の一部を助成しました。</p> <p>搬出間伐に対して助成することにより、間伐材の有効利用と林業の活性化を促しました。</p> <p>補助金申請者から補助対象期間の拡充するよう要望があったため、令和4年度から、事業期間を3期に分け、補助対象期間をこれまでより広げ、年間を通して林業に従事してもらえるように改善しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金(第2期) <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 58件 間伐本数 19,121本(内、搬出間伐3,308本 切捨間伐15,813本) 間伐面積 42.68ha 緊急間伐対策完了検査業務委託 委託先:伊賀森林組合 													
事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>605,000円</td> <td>緊急間伐対策完了検査委託料 委託先:伊賀森林組合</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>4,201,799円</td> <td>緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金(第2期)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,806,799円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	605,000円	緊急間伐対策完了検査委託料 委託先:伊賀森林組合	負担金、補助及び交付金	4,201,799円	緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金(第2期)	計	4,806,799円			
経費	金額	摘要													
委託料	605,000円	緊急間伐対策完了検査委託料 委託先:伊賀森林組合													
負担金、補助及び交付金	4,201,799円	緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金(第2期)													
計	4,806,799円														

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	2,355		2,300		2,100		2,550		美しい森林づくり基盤整備交付金 2,100,000円
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	3,836		6,465		2,707		6,232		
	合計(A)	6,191		8,765		4,807		8,782		
事業費 人件費	正規職員	業務量	0.23 人	0.23 人	0.23 人	0.23 人	0.23 人	0.23 人		
		人件費	1,786	1,780	1,780	1,773				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0	0				
	小計(B)	1,786	1,780	1,780	1,773					
	合計(A+B)	7,977	10,545	6,587	10,555					
	市民1人当たりのコスト(円)	90	121	76	123					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	緊急間伐・搬出間伐補助 間伐本数に占める搬出 間伐本数の割合	間伐材の有効利用及び林業 の活性化を示す	%	目標	35	35	19	21
				実績	32	17		
指標化できない成果			達成	91.4%	48.6			

方向	改善	課題	申請者である森林所有者の多くは間伐業務を林業従事者に委託している状況です。林業従事者の高齢化、所有山林に対する無関心が進んだことが原因で、林業を生業とする従事者の減少が見られます。また、間伐本数に占める搬出間伐の割合が約2割程度であり、間伐材の有効利用があまりなされていません。
	改善案		伊賀市未来の山づくり協議会 人材育成部会において、林業従事者の増加に向けた人材育成について検討します。令和5年度から開始する伊賀市森林作業道整備事業補助金により作業道の整備を支援することにより、森林施業及び木材の集材・搬出を促進します。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H28 年度～ R6 年度	01-06-02-02-07
	基本事業	① 森林環境の整備	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	流域防災機能強化対策事業		評価責任者・連絡先
			産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	溪流沿い等の森林整備		
	目的	流域における防災機能を強化する為、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備を行う		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例		
	内容	<p>【災害緩衝林一体型】 みえ森と緑の県民税を活用して県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備することで、防災機能をより強化する森林</p> <p>【環境林・特定水源地域】 伊賀市森林整備計画に定める県ゾーニングが環境林、又は三重県水源地域の保全に関する条例で、特定水源地域に指定されている森林</p> <p>上記の森林において、流域における防災機能を強化するため、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備に市町と県が連携して取り組む。 ・間伐等(災害緩衝林一体型):20.25ha、(環境林・特定水源地域)98.45ha ・委託先:伊賀森林組合</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	委託料	37,268,000円	流域防災機能強化対策事業業務委託 委託先:伊賀森林組合	
	計	37,268,000円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	16,808		45,815		37,268		34,210	みえ森と緑の県民税市町交付金 37,268,000円
		地方債	0		0		0		0	
		その他	0		0		0		0	
		一般財源	0		0		0		0	
		合計(A)	16,808		45,815		37,268		34,210	
事業費	人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	1,165		1,161		1,161		1,156	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0		0		0		0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0		0		0		0	
	小計(B)	1,165		1,161		1,161		1,156		
	合計(A+B)	17,973		46,976		38,429		35,366		
	市民1人当たりのコスト(円)	202		536		438		410		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	間伐面積	事業において間伐を実施した面積	ha	目標	200	135	135	135
				実績	44.65	118.7		
指標化できない成果			達成	22.3%	87.9%			

方向	改善	課題	流域における土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の防災機能を強化する必要があります。整備必要箇所を林業事業体と連携して把握し、森林整備を推進する必要があります。
		改善案	三重県に事業実施に必要となる予算を要望するとともに、林業事業体と連携し、水源かん養機能を発揮させる森林の優先度の高い森林から環境林整備を進めます。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	R4 年度～ R4 年度	01-06-02-02-08
	基本事業	① 森林環境の整備	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	自立的林業経営活動推進事業	産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市内に所在する森林のうち、補助対象団体が活動を行う時点において森林経営計画が策定されていない森林		
	目的	市内における自伐林業団体等による将来的な林業経営の集約化に資する森林管理及び資源利用等の活動を支援する		
	根拠法令等	伊賀市自立的林業経営活動推進事業補助金交付要綱		
	内容	市内の森林経営計画が策定されていない森林において、市内における自伐林業団体等による森林整備活動、森林機能強化活動、活動推進、研修活動及び資機材又は施設の整備を支援しました。 ・補助金活用団体 3団体		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	1,442,000円	伊賀市自立的林業経営活動推進事業補助金	
	計	1,442,000円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0		1,442		1,442		0	自立的林業経営活動推進事業補助金 1,442,000円
		地方債	0		0		0		0	
		その他	0		0		0		0	
		一般財源	0		0		0		0	
		合計(A)	0		1,442		1,442		0	
事業費	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.10 人	0.10 人	0.00 人			
		人件費	0		774		774		0	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0		0		0		0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0		0		0		0	
	小計(B)	0		774		774		0		
	合計(A+B)	0		2,216		2,216		0		
	市民1人当たりのコスト(円)	0		26		26		0		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	補助金活用自伐林業団体数	補助金を活用した自伐林業団体の数	団体	目標	—	3	—	—
				実績	—	3		
指標化できない成果			達成	—	100%			

方向	廃止	課題	当補助金を活用して、自伐林業団体等が将来的な林業経営の集約化に資する森林管理及び資源利用等を複数年継続して実施していく必要があります。
		改善案	(令和5年度から補助金申請先が市町から県に変更されるため当市の事業としては廃止となる)

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-1 観光	H18 年度～ R6 年度	01-06-02-02-03-01	
	基本事業	② 観光客の受け入れ	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	ハーモニー・フォレスト維持管理経費		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市民及び市外(都市)住民		
	目的	都市と川上ダム上流域の地域資源を活用した山村の交流を促進し、地元地区の地域活性化に努める。		
	根拠法令等	青山ハーモニー・フォレストの設置及び管理に関する条例		
	内容	<p>・青山ハーモニー・フォレストの管理に関する包括協定書及び年度協定書に基づき、施設の良い維持管理及び運営に努めました。</p> <p>・指定管理者は、施設利用者を増やすための自主事業を開催しました。(パークゴルフ値引きキャンペーン企画の期間延長、季節の手づくりワークショップ等)</p> <p>・令和4年度においてもキャンプブームの影響もあり、多くの利用がありました。 (オートキャンプ場利用者数)R2:2,732人 R3:3,679人(内日帰り:493人) R4:2,842人 (バーベキュー場利用者数) R2: 494人 R3: 443人(内日帰り:364人) R4:452人 (パークゴルフ場利用者数) R2:1,457人 R3:1,912人 R4:2,053人</p> <p>・乗用草刈機、トラックのクラッチのオーバーホールの修繕に加え、炊事棟の修繕をおこないました。また、令和5年1月の大寒波による水道関連の修繕もおこないました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	6,662,000円	ハーモニー・フォレスト指定管理料 (指定管理者:種生区)	
	需用費	1,007,698円	修繕料:炊事棟715,000円他	
	計	7,669,698円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	川上ダム周辺整備事業基金繰入金(R5) 8,750,000円 行政財産目的外使用料(R5) 13,000円
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	8,763	
		一般財源	6,882	7,599	7,670	0	
		合計(A)	6,882	7,599	7,670	8,763	
事業費	人件費	正規職員	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		業務量	0.10	0.10	0.10	0.10	
		人件費	777	774	774	771	
		再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		業務量	0.00	0.00	0.00	0.00	
		人件費	0	0	0	0	
会計年度任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
業務量	0.00	0.00	0.00	0.00			
人件費	0	0	0	0			
小計(B)	777	774	774	771			
合計(A+B)	7,659	8,373	8,444	9,534			
市民1人当たりのコスト(円)		86	96	97	111		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	施設年間利用者数		指定管理者が、前年度利用者数を下回らないようイベント内容の検討を行っている。		目標	10000	11600	14000
					実績	11550	13,804	/
指標化できない成果			達成	115%	119%	/	/	

方向	改善	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルスが5類に移行し、新たな利用客を増加させる工夫が求められます。 ・施設、整備について、経年劣化に伴う対応や修繕等が必要です。
		改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き、積極的な自主事業をおこなうよう指定管理者へ指導や助言をおこない、利用客の増加を図ります。 ・令和5年度予算で適切な修繕をおこないます。

整理番号
343 -

決算書頁
261

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)04治山林道維持経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H16 年度～	R6 年度	01-06-02-02-04-01
	基本事業	① 森林環境の整備	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	治山林道維持経費	担当部署	産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	林道利用者		
	目的	林道利用者が安全に通行できるよう維持管理を行う。		
	根拠法令等	伊賀市林道維持管理規程		
	内容	<p>市が直轄管理する基幹林道総延長L=26.7kmの維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路肩除草 N=8件 A=52,947㎡ ・舗装補修 N=1件 ・原材料費(道路補修材購入) N=1式 <p>地元管理林道関係の維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小規模土地改良事業等補助金 工事費補助 N=1件 材料費補助 N=4件 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	修繕料	1,237,500円	林道摺見妙楽地線道路舗装補修工事	1,237,500円
	委託料	2,971,200円	草刈業務委託料 8箇所 うちシルバー委託1・地元委託7	2,872,200円
			土砂等撤去業務委託料	99,000円
	原材料費	41,800円	林道摺見妙楽地線支障木伐採業務委託(青山) 施設補修材料費(舗装補修資材)	41,800円
	負担金、補助及び交付金	1,174,980円	小規模土地改良事業等補助金 工事費1件 材料費4件	1,174,980円
	計	5,425,480円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0		0		0		0		
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	5,964		5,919		5,425		4,720		
	合計(A)	5,964		5,919		5,425		4,720		
事業費	正規職員	業務量	0.21 人	0.21 人	0.21 人	0.21 人	0.21 人	0.21 人		
		人件費	1,631	1,625	1,625	1,619				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0					
	小計(B)	1,631	1,625	1,625	1,619					
	合計(A+B)	7,595	7,544	7,050	6,339					
	市民1人当たりのコスト(円)	86	86	81	74					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。	達成	-	-	/	/	

方向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	R4 年度～	R6 年度	01-06-02-02-05-01
	基本事業	① 森林環境の整備	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	森林環境保全整備事業	担当部署	産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	林道の利用者		
	目的	安全で円滑な交通の確保及び第三者への被害の未然防止を図る。		
	根拠法令等	林野庁インフラ長寿命化計画(行動計画)		
	内容	<p>市が管理する林道橋梁は149橋あり、橋梁点検により、早期措置段階・緊急措置段階と判定された橋梁について、個別施設計画に基づき修繕を行う事業です。R4年度は富永線3号橋他3橋の測量設計業務委託および橋梁補修工事を行いました。</p> <p>富永線3号橋L=8.0m、W=2.8m 上部工塗装塗替 A=27.9㎡ 東谷線3号橋L=7.0m、W=2.4m 橋台補修(根継工) N=1式 西谷線2号橋L=14.0m、W=2.0m 橋脚補修(根継工) N=1式 野田線野田橋L=10.0m、W=3.5m 上部工塗装塗替 A=52.5㎡</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	289,140円	消耗品費 289,140円	
	委託料	2,915,000円	橋梁修繕設計業務委託料 富永線3号橋他3橋橋梁補修測量設計業務委託 2,915,000円	
	工事請負費	11,292,600円	林道富永線3号橋橋梁補修工事他3件 4,430,800円 6,861,800円	
	計	14,496,740円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	4,861	0	緊急自然災害防止対策事業債
	地方債	0	0	15,700	0	14,200	0	4,900	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	5,262	0	
	一般財源	0	0	485	0	297	0	441	0	
	合計(A)	0	0	16,185	0	14,497	0	15,464	0	
事業費	正規職員	業務量	人	0.32	人	0.32	人	0.32	人	
		人件費	0	2,476	2,476	2,466				
	再任用職員	業務量	人	0	0	0	0			
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	人	0	0	0	0			
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	0	2,476	2,476	2,466						
合計(A+B)	0	18,661	16,973	17,930						
市民1人当たりのコスト(円)		0	213	194	208					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	修繕工事(設計)の実施橋梁数	個別施設計画に基づき修繕工事又は設計を実施した橋梁数	橋	目標	-	4(設計・工事)	7(設計)	7(工事)
				実績	-	4(設計・工事)		
指標化できない成果			達成	-	100%			

方向	改善	課題	設計と工事を単年度で実施すると、河川協議や工法検討等に時間を要するため、標準工期が設定できず、スケジュールがタイトとなっている。
	改善案		令和5年度からは設計年度と工事実施年度を分けることにより、設計から工事完了までの一連の作業が円滑に進められる。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-3 森林保全・林業	H16 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-02	
	基本事業	① 森林環境の整備	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	みんなの里山整備活動推進事業			

事務事業の概要	対象	地域の暮らしに身近な森林		
	目的	災害に強い森林づくりとして、地域住民による暮らしに身近な森林整備の体制づくり		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、みんなの里山整備活動推進事業補助金交付要綱		
	内容	緑の環境づくりや生活に密着した里山・竹林の再生を目的に、自治会等の地域住民が実施するボランティア活動に対して、必要経費を交付しました。 交付自治会数 27自治会(区) 補助金交付金額 6,052,000円		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	6,052,000円	みんなの里山整備活動推進事業補助金 27自治会(区)	
	計	6,052,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	6,569	9,120	6,052	7,571	
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	21			
	一般財源	0	0	0	0			
	合計(A)	6,569	9,120	6,052	7,592			
人件費	正規職員	業務量 0.52 人	0.52 人	0.52 人	0.52 人			
	人件費	4,038	4,024	4,024	4,007			
	再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
	人件費	0	0	0	0			
	会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	4,038	4,024	4,024	4,007			
	合計(A+B)	10,607	13,144	10,076	11,599			
	市民1人当たりのコスト(円)	119	150	115	135			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	活動参加人数	里山・森林の再生のためのボランティアに参加した人員	人	目標	1300	1350	1400	1500
				実績	1,209	965		
指標化できない成果			達成	80.6%	71.5%			

方向	改善課題	例年一定数の自治会に当事業を活用いただいております。暮らしに身近な里山を地域住民の手で管理が行われています。今後は、当事業をより多くの自治会に活用いただき、地域住民の手で管理された里山を広げていく必要があります。
	改善案	例年、年度当初に各地区市民センターを通じて各自治協及び自治会に対して事業周知を行い、ホームページ等にも事業募集を掲載していますが、今後は事業を活用した地区の参考事例を紹介し、より多くの自治会等に事業申請してもらえよう努めます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-3 森林保全・林業	H26 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-03	
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	伊賀の森っこ育成推進事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市内の小中学生		
	目的	次世代を担う子どもたちの森林環境への理解と関心を深める		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、伊賀の森っこ育成推進事業補助金交付要綱		
	内容	<p>小学校は6年生の学級数、中学校は3年生の学級数に10万円を乗じた額を上限として、森林環境・林業等に関する学習活動・体験活動などに対して補助を行いました。</p> <p>事業活用実績 小学校 19校の内12校(63%)、中学校10校の内4校(40%)。</p> <p>16団体 2,845,392円</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	2,845,392円	伊賀の森っこ育成推進事業補助金 2,845,392円	
	計	2,845,392円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) みえ森と緑の県民税市町交付金 2,845,392円	
		国県支出金	2,080	3,000	2,845	3,400		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	2,080	3,000	2,845	3,400			
	事業費	正規職員	業務量	0.17 人	0.17 人	0.17 人		0.17 人
			人件費	1,320	1,316	1,316		1,310
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)	1,320	1,316	1,316	1,310				
合計(A+B)	3,400	4,316	4,161	4,710				
市民1人当たりのコスト(円)	39	50	48	55				

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	補助金申請団体数	当該補助金を申請した小中学校数	団体	目標	20	23	26	30
				実績	14	16	/	/
指標化できない成果			達成	70.0%	69.6%	/	/	

方向	改善	課題	小学校に比べ中学校の事業申請が少なく、小学校から中学校へ継続した森林環境教育の実施が課題です。
	改善案		当事業を活用いただいていない小中学校に対して、事業活用事例等を紹介し、事業申請を促します。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H26 年度～	R6 年度	01-06-02-02-06-04
	基本事業	② 森林資源の利活用	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	地域の森と緑のつながり支援事業	担当部署	産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	住民自治協議会等		
	目的	次世代を担う子どもたちの森林環境への理解と関心を深める		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、地域の森と緑のつながり支援事業補助金交付要綱		
	内容	<p>1回あたり5万円を上限として世代間交流などによる森林環境・林業等に関する学習活動・体験活動などに対して補助を行いました。</p> <p>申請団体 2団体(住民自治協議会) 80,000円</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント時におけるPR活動を実施出来なかったため、三重県伊賀庁舎及び伊賀市役所庁舎にて、木育と森林・林業についてのPRブースを設置する期間を設けて周知を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	80,000円	地域の森と緑のつながり支援事業補助金	
	計	80,000円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	250	300	80	200	みえ森と緑の県民税市町交付金 80,000円
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	
	合計(A)	250	300	80	200	
事業費	正規職員	業務量	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人
		人件費	78	78	78	78
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
小計(B)	78	78	78	78		
合計(A+B)	328	378	158	278		
市民1人当たりのコスト(円)		4	5	2	4	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	補助金申請団体数	当該補助金の申請団体数	団体	目標	8	6	6	6
				実績	0	2		
指標化できない成果			達成	0%	33.3%			

方向	改善	課題	令和4年度に実施された事業は、林業従事者を対象とした林業研修であり、子どもを対象とした森林環境教育活動への事業活用がありませんでした。地域の子どもたちを対象とした森林環境教育活動の実施に向け、当事業の活用について各団体に周知する必要があります。
	改善案		これまでから継続して実施している、住民自治協議会への事業概要及び補助金申請書類のメール送付やホームページ掲載による事業周知に加え、具体的な森林環境教育活動の事例の紹介等を行うことで、当事業の活用を促します。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-3 森林保全・林業	H26 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-05	
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金基金事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	みえ森と緑の県民税市町交付金のうち、一般会計歳入歳出予算で定める額		
	目的	災害に強い森林づくり及び市民全体で森林を支える社会づくりを推進する施策に要する経費の財源に充てる		
	根拠法令等	伊賀市みえ森と緑の県民税市町交付金基金条例		
	内容	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立金 8,097,641円 みえ森と緑の県民税市町交付金基金運用益 20,450円		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	積立金	8,118,091円	みえ森と緑の県民税基金積立金	
	計	8,118,091円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	2,662	0	8,098	0	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立金 8,097,641円 みえ森と緑の県民税市町交付金基金運用益 20,450円
		地方債	0	0	0	0	
		その他	27	17	20	0	
		一般財源	0	0	0	0	
		合計(A)	2,689	17	8,118	0	
事業費	人件費	正規職員	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人	
		業務量	0.01	0.01	0.01	0.01	
		人件費	78	78	78	78	
		再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		業務量	0.00	0.00	0.00	0.00	
		人件費	0	0	0	0	
会計年度任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
業務量	0.00	0.00	0.00	0.00			
人件費	0	0	0	0			
小計(B)	78	78	78	78			
合計(A+B)	2,767	95	8,196	78			
市民1人当たりのコスト(円)		31	2	94	1		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	—	—	—	—	目標	—	—	—	—
					実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	基金への積立金であり、指標化できません。	達成	—	—	—	—	—	

方向	改善	課題	伊賀市みえ森と緑の県民税市町交付金基金への積立金です。
	改善案	基金を活用して実施する事業の検討を行います。	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H28 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-06
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当 部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	未利用間伐材バイオマス利用推進事業		

事務事業の概要	対 象	未利用間伐材搬出者		
	目 的	未利用間伐材利用を促進して林地残材の減少を図り、森林所有者等による森林整備につなげる		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、未利用間伐材バイオマス利用推進事業補助金交付要綱		
	内 容	<p>発電用チップに係る間伐材等由来の木質バイオマス証明材を、市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者に買い取ってもらうために必要な搬出、及び運搬に要する経費の一部を助成しました。</p> <p>間伐材等由来の木質バイオマス証明材:1トン当たり 3,000円 搬出量:934.56トン</p>		
事業に要した 主な経費 など		経費	金額	摘要
		負担金、補助及び交付金	2,803,680円	未利用間伐材バイオマス利用推進事業補助金
		計	2,803,680円	

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	5,487	7,397	2,804	5,100	みえ森と緑の県民税市町交付金 2,803,680円	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	103	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	5,487	7,500	2,804	5,100		
	事業費	正規職員	業務量	0.13 人	0.13 人	0.13 人		0.13 人
			人件費	1,010	1,006	1,006		1,002
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
人件費	0		0	0	0			
	小計(B)	1,010	1,006	1,006	1,002			
	合計(A+B)	6,497	8,506	3,810	6,102			
	市民1人当たりのコスト(円)	73	97	44	71			

指 標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	未利用間伐材搬出量	補助対象となった未利用間伐材の搬出量	t	目標	2000	2500	3000	3000
				実績	1828.86	934.56	/	/
指標化できない成果			達成	91.4%	37.4%	/	/	

方 向	改善	<p>搬出量については、令和4年度はウッドショックによる用材(燃料以外の建築・工事・家具などに用いる木材)価格の上昇による影響を受け、令和3年度の約50%に減少しました。木材市場全体の取扱い量は増加しており、用材として出荷される木材が増加したことは望ましいことですが、今後も当事業により、間伐された後未利用となっているバイオマス材の有効利用を促進する必要があります。</p>
	改善案	<p>バイオマス材の出荷先である木材市場と連携し、補助金申請書類の簡素化を検討します。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-3 森林保全・林業	H28 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-07	
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	森のやすらぎ空間整備事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市民が木とふれあい、やすらげる空間を創出する。		
	目的	木の薫るやすらぎの街づくりのため、伊賀市産木材を利用し街中にやすらげる空間をつくる		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内容	伊賀白鳳木育推進実行委員会(事業実施主体)が、上野南小学校に設置する、伊賀産材を用いた木製消毒液台を開発することに対する助成を行いました。 開発に伴う原材料費・需用費等について一定の範囲内で助成しました。 事業実施主体:伊賀白鳳木育推進実行委員会 箇所:1箇所(伊賀市立上野南小学校)		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	700,000円	森のやすらぎ空間整備事業補助金	
	計	700,000円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	700	700		700
地方債	0			0	0	0		
その他	0			0	0	0		
一般財源	0			0	0	0		
合計(A)	700			700	700	700		
事業費	正規職員		業務量	0.05 人	0.05 人	0.05 人	0.05 人	
			人件費	389	387	387	386	
	再任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
	会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費		0	0	0	0			
	小計(B)	389	387	387	386			
	合計(A+B)	1,089	1,087	1,087	1,086			
	市民1人当たりのコスト(円)	13	13	13	13			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		整備箇所数	森のやすらぎ空間を整備した箇所数	箇所	目標	1	1	1	1
					実績	1	1	/	/
	指標化できない成果			達成	100%	100%	/	/	

方向	改善	課題	年度により、事業者からの補助事業の申請が無い場合があるため、継続した事業実施に向けて、高校が組織する実行委員会と連携して事業進捗を図る必要があります。
		改善案	ホームページ等による事業広報を行い、当事業の活用を促します。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-事業	
	施策	3-3 森林保全・林業	H26 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-09	
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	親子ではじめる木育推進事業			

事務事業の概要	対 象	伊賀市に住む幼児		
	目 的	幼児期から木のぬくもりに触れる機会をあたえることで、「木育」のきっかけを作る		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例		
	内 容	<p>健やかな子どもの成長と木材利用の推進を図るため、「木育」のきっかけとして地域材のフォトフレーム、伊賀産ヒノキの手作り箸キットをプレゼントしました。</p> <p>出生届提出時(木製フォトフレーム) 540個 小学5年生(伊賀産ヒノキの手作り箸キット) 800個</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費 消耗品費	2,429,527円	木製フォトフレーム 540個	974,160円
			伊賀産ヒノキの手作り箸キット 800個	1,452,000円
			紙ラベル、コピー用紙	3,367円
	役務費 通信運搬費	17,760円	レターパック 48通	17,760円
	計	2,447,287円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	1,551	2,509	2,447	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	
		合計(A)	1,551	2,509	2,447	0
事業費	人件費	正規職員	0.12 人	0.12 人	0.12 人	0.00 人
		業務量	0.12	0.12	0.12	0.00
		人件費	932	929	929	0
		再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		業務量	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
業務量	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	0	0	0	0		
小計(B)	932	929	929	0		
合計(A+B)	2,483	3,438	3,376	0		
市民1人当たりのコスト(円)		28	40	39	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	木育の認識		アンケートで「木育を知っていた」を選択した割合	%	目標	25	26	—
					実績	20	15.6	/
指標化できない成果			達成	80%	60%	/	/	

方向	廃止	課題 配布した木製品が、着実に木育の推進に繋がっているのかを検証する必要があります。また、木育の認知度が下がっている傾向があります。
	改善案	木製品の配布に併せた木育の啓発を行って行く必要があります。木製フォトフレームの配布と同様に、伊賀産ヒノキの手作り箸キットの配布の際にもアンケートを実施し、アンケート結果を用いて、より事業効果を発揮できるよう改善します。 ※令和5年度から「木づかい木育推進事業」に事務事業名を変更して実施します。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	R元	年度～ R6 年度	01-06-02-02-07-01
	基本事業	① 森林環境の整備	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	森林環境譲与税事業		産業振興部農林振興課	課長 福山 朋宏 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀市内の森林																																	
	目的	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進を行う																																	
	根拠法令等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律																																	
	内容	<p>令和元年度から譲与されている森林環境譲与税は、山村地域のこれまで手入れが十分に行われてこなかった森林の整備の進展等を目的とされ創設されました。</p> <p>令和4年度は、令和3年度と同様に未整備協定林の整備事業及び境界明確化事業を実施したことに加えて、伊賀市の山の管理を計画的に進めるため、行政及び林業事業者等(川上・川中・川下)により令和2年7月に立ち上げた伊賀市未来の山づくり協議会において4部会における部会事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林経営管理意向調査業務委託 307.11ha ・未整備協定林整備調査業務委託 180.75ha ・未整備協定林整備業務委託 145.86ha ・伊賀市未来の山づくり協議会負担金 ・森林境界明確化事業補助金 232.05ha ・伊賀産材ブランド化事業補助金 1855.48㎡ ・緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金 間伐本数5,299本 																																	
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">経費</th> <th style="width:15%;">金額</th> <th style="width:55%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">3,300,000円</td> <td>森林経営管理意向調査業務委託 委託先:伊賀森林組合</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">4,180,000円</td> <td>未整備協定林整備調査業務委託料 委託先:伊賀森林組合</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">44,536,800円</td> <td>未整備協定林整備業務委託 委託先:伊賀森林組合</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">2,694,000円</td> <td>伊賀市未来の山づくり協議会負担金</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">11,513,000円</td> <td>森林境界明確化事業補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">927,734円</td> <td>伊賀産材ブランド化事業補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">1,490,235円</td> <td>緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td style="text-align: right;">81,750円</td> <td>森林環境譲与税基金積立金</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">68,723,519円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					経費	金額	摘要	委託料	3,300,000円	森林経営管理意向調査業務委託 委託先:伊賀森林組合		4,180,000円	未整備協定林整備調査業務委託料 委託先:伊賀森林組合		44,536,800円	未整備協定林整備業務委託 委託先:伊賀森林組合	負担金、補助及び交付金	2,694,000円	伊賀市未来の山づくり協議会負担金		11,513,000円	森林境界明確化事業補助金		927,734円	伊賀産材ブランド化事業補助金		1,490,235円	緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金	積立金	81,750円	森林環境譲与税基金積立金	計	68,723,519円	
経費	金額	摘要																																	
委託料	3,300,000円	森林経営管理意向調査業務委託 委託先:伊賀森林組合																																	
	4,180,000円	未整備協定林整備調査業務委託料 委託先:伊賀森林組合																																	
	44,536,800円	未整備協定林整備業務委託 委託先:伊賀森林組合																																	
負担金、補助及び交付金	2,694,000円	伊賀市未来の山づくり協議会負担金																																	
	11,513,000円	森林境界明確化事業補助金																																	
	927,734円	伊賀産材ブランド化事業補助金																																	
	1,490,235円	緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金																																	
積立金	81,750円	森林環境譲与税基金積立金																																	
計	68,723,519円																																		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		森林環境譲与税譲与金 68,641,769円 森林環境譲与税基金運用益 81,750円
		地方債	0	0	0	0		
		その他	121	13,707	82	15,466		
		一般財源	53,418	73,076	68,642	72,900		
	合計(A)	53,539	86,783	68,724	88,366			
	事業費	人件費	正規職員	業務量	0.72 人	0.72 人	0.72 人	0.72 人
				人件費	5,591	5,571	5,571	5,548
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
				人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員			業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	5,591	5,571	5,571	5,548			
	合計(A+B)	59,130	92,354	74,295	93,914			
	市民1人当たりのコスト(円)	663	1,052	847	1,087			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	環境林整備面積	間伐により環境林整備を行った面積	ha	目標	68	180	200	200
				実績	66.48	159.13	/	/
指標化できない成果			達成	97.8%	88.4%	/	/	

方向	改善	<p>課題</p> <p>森林環境税の徴収が令和6年度から開始されるため、今後森林環境譲与税事業への関心が高まることが予想され、森林環境譲与税事業の事業実績及び効果について市民に周知していく必要があります。</p>
	改善案	<p>事業内容の精査を行い、効果を発揮できるよう事業を推進します。ホームページ等で森林環境譲与税事業実績の周知及び森林環境整備の必要性について啓発を行います。</p>

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)01商工業振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-01-01
	基本事業	① 商工業の活性化	担当部署	部・課名等
	事務事業名	商工振興経費	産業振興部商工労働課	評価責任者・連絡先 課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	関係団体および事業者		
	目的	伊賀市内の商工業の振興・発展のため、関係団体や事業者に対して支援を行う。		
	根拠法令等	中小企業振興事業資金利子補給補助金実施要領、小規模事業資金融資制度保証料補助金実施要領など		
	内容	<p>・上野商工会議所及び伊賀市商工会等の関係団体や事業者に対して、商工業者の育成と発展を図ることを目的に、これらが実施する事業に対し補助を行いました。</p> <p>・地域経済の維持・発展を図るため、市内で起業する者及び事業改善を行う者に対し、その経費の一部を補助しました。</p> <p>・日本政策金融公庫による経営改善貸付制度の設備資金利用者に対する利子補給補助や、小規模事業資金制度の利用者に対し、三重県信用保証協会への支払保証料に対する補助を行いました。</p> <p>・地域総合整備資金貸付制度により、地域総合整備財団の支援を得て、地域振興と雇用促進に繋がる事業を実施する民間事業者(1件)に対し、設備投資資金の一部を無利子で貸付けました。</p> <p>・地域経済を支える産業振興についての理念や方向性、関係者の役割を明らかにし、地域循環経済の構築、地域経済の健全な発展、産業基盤の安定・強化を図るため「伊賀市産業振興条例」を制定しました。</p> <p>【負担金、補助金】 中小企業相談業務負担金(上野商工会議所)、三重県産業支援センター負担金、三重県計量協会負担金、日本貿易振興会三重県情報センター事業運営負担金、商工会議所事業費補助金、中小企業振興事業貸付利子補給補助金、小規模事業資金融資制度保証料補助金、商工会事業費補助金、地域総合整備資金貸付連帯保証料補助金、地域振興活性化事業費補助金、起業・事業承継促進事業補助金</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	66,000円	産業振興条例策定委員会委員報酬 66,000円	
	委託料	612,000円	商業後継者育成事業委託料(上野商工会議所) 150,000円 看板作成業務委託料(大山田工業団地) 462,000円	
	負担金、補助及び交付金	42,823,510円	商工会事業費補助金(伊賀市商工会) 23,850,000円 起業・事業承継促進事業補助金 8,800,000円 中小企業相談業務負担金(上野商工会議所) 4,000,000円 商工会議所事業費補助金(上野商工会議所) 2,000,000円 他7件 4,173,510円	
	貸付金	462,000,000円	地域総合整備資金貸付金 462,000,000円	
	その他	176,053円	謝礼、旅費、消耗品費、修繕料、通信運搬費、手数料、有料道路通行料	
	計	505,677,563円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【財源】 ・地方創生推進交付金:3,000千円 ・地域総合整備資金貸付金:462,000千円 ・ふるさと応援基金:5,800千円
		国県支出金	4,014	3,000	3,000	4,500	
		地方債	0	462,000	462,000		
		その他	5,800	6,000	5,800	15,500	
		一般財源	35,083	43,147	34,878	39,981	
		合計(A)	44,897	514,147	505,678	59,981	
	事業費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.60 人	0.55 人
			人件費	2,718	2,708	4,643	4,238
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.20 人	0.00 人	
	人件費	0	0	324	0		
	小計(B)	2,718	2,708	4,967	4,238		
	合計(A+B)	47,615	516,855	510,645	64,219		
	市民1人当たりのコスト(円)	534	5,888	5,817	744		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	商工会議所・商工会会員数	商工会議所・商工会会員数	企業	目標	1,934	2,041	2,041
				実績	2,041	2,049	
指標化できない成果			達成	105.5%	100.4%		

方向	改善課題	商工業を取り巻く環境は日々変化しているが、補助を行っている商工団体等については例年と同内容の事業を行っている。 産業振興条例を施行したが、更なる周知を図っていく必要がある。
	改善案	I. II. 例年と同じ事業をするのではなく、ブラッシュアップや時代に即した事業を実施いただくよう指導、支援を行う。 I. 産業振興条例に関する解説資料の作成、配布及び説明会の実施により周知を図る。

整理番号
354 -

決算書頁
263

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)01商工業振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～	R6 年度	01-07-01-02-01-03
	基本事業	① 商工業の活性化	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	地場産業振興事業	担当部署	産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	物産振興団体		
	目的	伝統工芸品産業(伊賀焼・伊賀組紐)の振興を図る		
	根拠法令等			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伊賀焼伝統産業会館の管理について、指定管理者包括協定に基づき伊賀焼振興協同組合に委託を行いました。(5年のうち4年目) ・伝統的工芸品である伊賀組紐及び伊賀焼の普及、振興のため、三重県組紐協同組合、伊賀焼振興協同組合に対し補助を行いました。 ・「上野天神祭のダンジリ行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録された上野天神祭に合わせ開催した「じばさんまつり」や、市内外の観光・物産展への出展等、地場産業の普及・PRを年間を通じて行いました。 ・文化庁からの委託を受け、伊賀の伝統文化親子体験フェスタを開催し、伊賀焼や伊賀くみひも等の体験を通じて子どもたちの伝統工芸に対する関心を高めることができました。(参加者186人) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	189,640円	修繕料(伝統産業会館漏水修繕、伝統伝承館排煙窓修繕)	189,640円
	委託料	7,211,506円	伊賀焼伝統産業会館指定管理料(伊賀焼振興協同組合)	4,248,000円
			地場産業振興事業(じばさんまつり等)委託料(伊賀市物産協会)	800,000円
			伊賀の伝統文化親子体験フェスタ業務委託料(菓子工業組合、伊賀焼振興協同組合、三重県組紐協同組合)	1,326,968円
			フェスタ関連その他委託料(会場設営、システム導入、警備他)	836,538円
	負担金、補助及び交付金	550,000円	伝統的工芸品産業振興協会負担金	50,000円
			伝統的工芸品産業振興補助金(伊賀焼振興協同組合、三重県組紐協同組合)	500,000円
	その他	415,874円	消耗品費、燃料費、手数料、傷害保険料、会場借上料、機械器具借上料、物品借上料	415,874円
	計	8,367,020円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国庫支出金	0	0	0	0	2,480	0	0	0	【国庫支出金】伝統文化親子教室事業委託金2,480千円
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	406	
	一般財源	5,384		5,758		5,888		6,537		
	合計(A)	5,384		5,758		8,368		6,943		
事業費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.30 人	0.25 人				
		人件費	2,718	2,708	2,322	1,927				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.15 人	0.00 人				
		人件費	0	0	243	0				
小計(B)		2,718	2,708	2,565	1,927					
合計(A+B)		8,102	8,466	10,933	8,870					
市民1人当たりのコスト(円)		91	97	125	103					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	伊賀焼伝統産業会館・伊賀伝統伝承館の来客数	伊賀焼伝統産業会館・伊賀伝統伝承館の来客数	人	目標	15,000	22,000	22,000	22,000
				実績	13,416	19,955		
指標化できない成果			達成	89.4%	90.7%			

方向	改善課題	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸品の次世代への継承について、担い手不足による事業衰退が懸念される。 ・施設の老朽化に伴い、大規模修繕を見据えた維持管理を行っていく必要がある。
	改善案	I. II. 積極的なPR活動により業界自体の認知度を高めることで、後継者育成につなげていく。また、施設の機能維持を図るため、様々な財源の活用を考慮しながら、保守、修繕に努める。

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)02企業立地促進経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～	R6 年度	01-07-01-02-02-01
	基本事業	② 企業立地	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	企業立地促進経費		産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	立地企業、事業者										
	目的	企業を誘致し、税収を上げるとともに、地域の雇用の安定を図る。										
	根拠法令等	工場立地法、伊賀市工場誘致条例										
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国内約3,600社(全国3,500社、市内100社)に企業誘致アンケートを送付し、有意回答のあった企業に対して、南部丘陵地の計画や立地した場合の優遇策などについて情報提供を行いました。 ・伊賀市工場誘致条例に基づき奨励金を交付しました。 <table border="1"> <tr> <td>用地取得助成金</td> <td>1件</td> <td>10,001,500円</td> </tr> <tr> <td>立地奨励金</td> <td>11件</td> <td>41,547,725円</td> </tr> <tr> <td>雇用促進奨励金</td> <td>1件(6名)</td> <td>720,000円</td> </tr> </table>			用地取得助成金	1件	10,001,500円	立地奨励金	11件	41,547,725円	雇用促進奨励金	1件(6名)
用地取得助成金	1件	10,001,500円										
立地奨励金	11件	41,547,725円										
雇用促進奨励金	1件(6名)	720,000円										
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要									
	旅費	159,174円	企業訪問 職員旅費									
	需用費	143,773円	消耗品費 140,131円 燃料費 3,642円									
	役務費	138,264円	企業誘致アンケート返信郵送代 11,544円 企業誘致アンケート調査対象企業抽出業務手数料等 126,720円									
	負担金、補助及び交付金	52,569,225円	三重TLO特別会員負担金 300,000円 工場誘致条例による奨励金 52,269,225円 用地取得助成 1件 10,001,500円 立地奨励金 11件 41,547,725円 雇用促進奨励金 1件(6名) 720,000円									
	計	53,010,436円										

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	89,649	53,058	53,011	32,193				
		合計(A)	89,649	53,058	53,011	32,193				
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.55 人	0.55 人	0.60 人	0.60 人				
		人件費	4,271	4,256	4,643	4,623				
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.10 人	0.00 人				
		人件費	0	0	162	0				
	小計(B)	4,271	4,256	4,805	4,623					
	合計(A+B)	93,920	57,314	57,816	36,816					
	市民1人当たりのコスト(円)	1,053	653	659	427					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	優遇措置等説明企業数	アンケート有意企業への訪問数、説明数	件	目標	10	10	10	10
				実績	8	12		
指標化できない成果			達成	80.0%	120.0%			

方向	改善	課題	<p>誘致に対応する用地がないため、具体的な誘致活動が実施できない。 工場誘致条例に基づく優遇措置については、周辺の情報を収集したうえで現状に則した制度に改め、誘致を推進していく必要がある。</p>
	改善案	<p>I. 企業用地整備課と連携しながら、南部丘陵地に計画している新たな産業用地への立地に向けて企業を発掘する。 II. 工場誘致条例に基づく優遇措置について、周辺自治体との対比により効果的な措置を検討するとともに、立地企業からのニーズも考慮したうえでより時代に即したものになるよう条例改正を検討する。</p>	

整理番号 356 -	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)03中心市街地等商店街活性化事業	決算書頁 265
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-03-01
	基本事業	① 商工業の活性化	担当部署	部・課名等
	事務事業名	中心市街地等商店街活性化事業	産業振興部商工労働課	評価責任者・連絡先 課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	中心市街地等の商店及び商店街、上野商工会議所、まちづくり伊賀上野等		
	目的	商店街などの誘客活動を支援することで、中心市街地における歩行者等の通行量を増加させ、にぎわい回復を目指します。		
	根拠法令等			
内容	<p>にぎわい創出のため、各商店街等が実施する事業に対し補助金を交付しました。</p> <p>①市民夏のにぎわいフェスタ2022…8/20まちなかの魅力再発見をテーマにコロナ禍を考慮し分散型のイベントを実施しました。</p> <p>②灯りの城下町事業…10/8、10/9に行灯、竹灯りで風情・賑わいのあるまちを演出しました。</p> <p>③灯りの芭蕉路事業…灯りの城下町の実施に合わせて灯りの設置等を行うとともに貝おほい奉納350年事業として、芭蕉生家無料拝観、芭蕉路マップの発行を行いました。</p> <p>④上野中町商店会活性化事業…灯りの城下町の実施に合わせてお囃子の生演奏を実施し、年末感謝キャンペーンとしてQRコードを使った店舗PRを実施しました。</p> <p>⑤伊賀上野まちなかゼミナール開催事業…商店街等の店主やスタッフによる講座形式で魅力、技術、知識を伝え、誘客に繋げました。</p> <p>⑥伊賀上野まち百貨店…毎月第1土曜日に各個店でその日しか味わえない催しを連携して開催し、個店の魅力発信、顧客づくりに努めました。</p> <p>⑦銀座商店街賑わい創出事業…七夕、クリスマスの時期にイルミネーションの点灯を行い、商店街の魅力向上に努めました。</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	2,326,129円	市民夏のにぎわいフェスタ2022(フェスタ実施委員会) 699,476円 灯りの城下町事業(上野商工会議所) 169,746円 灯りの芭蕉路事業(灯りの芭蕉路実行委員会) 48,730円 上野中町商店会活性化事業(上野中町商店会) 359,165円 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業(上野商工会議所) 243,145円 伊賀上野まち百貨店(絃まちづくり伊賀上野) 325,867円 銀座商店街賑わい創出事業(伊賀上野銀座商店街振興組合) 480,000円	
	計	2,326,129円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【その他財源】ふるさと応援基金繰入金:699千円
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	1,150	699	1,104	
		一般財源	962	1,850	1,628	1,700	
	合計(A)	962	3,000	2,327	2,804		
	事業費	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人
			人件費	1,941	1,935	1,935	1,927
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.05 人	0.00 人	
	人件費	0	0	81	0		
小計(B)	1,941	1,935	2,016	1,927			
合計(A+B)	2,903	4,935	4,343	4,731			
市民1人当たりのコスト(円)	33	57	50	55			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標達成事業数	補助団体が補助金の交付申請時に各自設定する目標を達成した事業数	件	目標	4	7	7
				実績	1	3	
指標化できない成果		達成	25.0%	42.9%			

方向	改善課題	中心市街地のにぎわい創出のために必要な事業であるが、数年間同じ内容の事業がある。
	改善案	I、II. 予算要求の際に、申請予定者に事業計画書(予算要望資料)の提出を求める。また、事業計画書の提出にあたり、各申請者により実績や目標達成状況の検証、中長期計画等に基づく事業となるよう指導を行う。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-04-01	
	基本事業	① 商工業の活性化	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	交流促進施設維持管理経費		産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	道の駅あやま利用者		
	目的	道の駅の利用者に対し、地域情報を提供するとともに、地域産業の振興を図る。		
	根拠法令等	伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例		
	内容	<p>阿山交流促進施設(道の駅あやま)の運営、施設及び設備の維持管理について、指定管理者の更新を行い、管理者に引き続き阿山物産振興協同組合を選定し、包括協定及び年次協定を締結しました。(5年のうち1年目)</p> <p>【指定管理の内容】 道の駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供するとともに、トイレ等の休憩施設を提供する。また、自主事業により地場産品の販売、飲食の提供等を行う。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	4,000,000円	交流促進施設指定管理料(阿山物産振興協同組合) 4,000,000円	
	負担金、補助及び交付金	70,000円	道の駅連絡会負担金 70,000円	
	計	4,070,000円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0		0
地方債	0			0	0	0		
その他	0			0	0	0		
一般財源	4,168			4,478	4,070	5,027		
合計(A)	4,168			4,478	4,070	5,027		
事業費	正規職員		業務量	0.10 人	0.10 人	0.30 人	0.40 人	
			人件費	777	774	2,322	3,082	
	再任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
	会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.05 人	0.00 人	
人件費		0	0	81	0			
	小計(B)	777	774	2,403	3,082			
	合計(A+B)	4,945	5,252	6,473	8,109			
	市民1人当たりのコスト(円)	56	60	74	94			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		施設利用者数	施設全体の利用者数(推計値) ※物産コーナー利用者×4人	人	目標	220,000	220,000	220,000	220,000
					実績	176,000	192,870	/	/
	指標化できない成果			達成	80.0%	87.7%	/	/	

方向	民間委託	<p>阿山ふるさとの森公園及びあやま文化センターを含めた周辺公共施設民間活用事業の事業者公募が令和5年度に開始される予定となっているため、指定管理期間中の協定解除、施設及び運営の承継が必要となる。開設後約20年が経過しているため、施設の老朽化が進んでいる。</p>
	課題	
	改善案	<p>I. 民間活用事業による事業者が未定であるが、道の駅としての機能の維持を公募条件とし、利用者に不便を与えないよう事業の進捗に応じ現受託者に情報を提供するとともに、必要な協議を行いながら進める。</p> <p>I. 施設の維持に必要な修繕を順次実施する。</p>